

令和3年度

第2次佐伯市総合計画（後期基本計画）
策定のための市民アンケート調査

調査報告書

令和4年3月
佐伯市

目 次

I 調査概要

調査目的	1
調査対象・手法	1
実施期間	1
回収状況	1
報告書の見方	2

II 調査結果概要

あなたの日常生活、住みやすさについて	3
佐伯市が取り組んでいる施策の満足度と重要度について	3
今後の佐伯市の施策について	3
佐伯市のまちづくりについて	4
市役所（市民サービス）について	4

III 調査結果

あなた自身のことについて	5
あなたの日常生活、住みやすさについて	10
佐伯市が取り組んでいる施策の満足度と重要度について	15
佐伯市が取り組んでいる施策の総合的な満足度について	42
今後の佐伯市の施策について	43
佐伯市のまちづくりについて	45
市役所（市民サービス）について	49

IV 設問毎クロス集計

属性	59
問1	76
問2	78
問3	80

問4

P59～254は、容量の関係で配布しておりません。
本市のホームページに掲載しておりますので、
必要に応じてご覧ください。

https://www.city.saiki.oita.jp/kiji00320/3_20_up_3e88d8pj.pdf

問5

問6

問7

問8

問9

問10

問11

問12

228

231

234

237

V 参考資料

調査票	255
-----	-----

I 調査概要

調査目的

「第2次佐伯市総合計画（前期基本計画）」の計画期間終了を控え、「後期基本計画（計画期間：令和5年度～令和9年度）」の策定に向け、市民と行政が一体となった佐伯市のまちづくり推進のため、市民の意識・現状を把握するために実施しました。

調査対象・手法

調査対象	令和3年8月13日現在、佐伯市に住民票を有する18歳以上の市民から3,500人の男女を無作為抽出
調査方法	郵送配布、郵送・Web回収

実施期間

期間	内容
令和3年 9月 9日	調査票発送
令和3年 9月10日～10月22日	調査期間
令和3年11月 5日	調査票回収締切

回収状況

	今回調査 令和3年（2021年）	前回調査 平成28年（2016年）
配布数	3,500	3,500
回収数	1,378	1,412
回収率	39.37%	40.34%

	回収数	郵便回収数	Web回収数
全体	1,378	1,179	199
男性	593	496	97
女性	778	676	102
その他	2	2	0
不明	5	5	0
18～29歳	104	59	45
30～39歳	147	93	54
40～49歳	178	137	41
50～59歳	204	171	33
60～69歳	346	326	20
70歳以上	394	388	6
不明	5	5	0

I 調査概要

報告書の見方

- 四捨五入による有効数字の関係上、単数回答であっても合計値が100%にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、有効回答者数に対して、それぞれの割合を示しています。
- グラフの値については、レイアウトの関係上省略することがあります。
- 比較分析において、設問内容や選択肢が異なる場合は、参考値として表記しています。また、一部設問においては、比較のため再集計を行っています。
- 「大入島地区」、「西上浦地区」、「青山地区」、「本匠地区」、「米水津地区」は回答数が少ないため、参考として掲載しています。報告書の該当する箇所は、(※)の記載があります。
- 調査結果には統計上の誤差が生じ、その標本誤差（信頼度を95%とした場合）は、下記の式により求めることができます。一般的に標本誤差が5%程度であればよいとされています。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \quad N = \text{母集団}, n = \text{サンプル数}, P = \text{回答比率}$$

今回の調査は、母集団（令和3年8月13日現在：18歳以上人口=60,167人）、サンプル数（1,378人）から標本誤差を計算すると、下記の標本誤差以内となります。

今回調査標本誤差 ±2.7%

- 本文中の満足度および重要度の平均スコアは、下記の式によって算出し、小数第3位を四捨五入した数値です。

$$\text{満足度平均スコア} = \frac{\{(満足) \times 5 + (やや満足) \times 4 + (普通) \times 3 + (やや不満) \times 2 + (不満) \times 1\}}{\{\text{回答総数} - (\text{よくわからない} + \text{無回答})\}}$$

$$\text{重要度平均スコア} = \frac{\{(重要) \times 5 + (やや重要) \times 4 + (普通) \times 3 + (あまり重要でない) \times 2 + (重要でない) \times 1\}}{\{\text{回答総数} - (\text{よくわからない} + \text{無回答})\}}$$

II 調査結果概要

あなたの日常生活、住みやすさについて（問1～問4）

約9割の市民が佐伯市に対して愛着を感じています。『愛着を感じる（「非常に愛着を感じる」＋「多少愛着を感じる」）』を合わせた割合は、前回調査よりも高くなっていることから、佐伯市に愛着を感じている市民が増加していると考えられます。

佐伯市を『住みよい（「住みよい」＋「どちらかと言えば住みよい」）』と感じている市民の割合は、前回調査より高くなっています。しかし、「住みよい」「どちらかと言えば住みよい」と回答した割合は、30～59歳では約8割、60歳以上では約9割であるのに対して、18～29歳では約7割となっており、今後若い人が市外に転出するおそれがあります。

「どちらかと言えば住みにくい」「住みにくい」と回答した方の理由を見ると、「日常の買い物が不便である」、「医療施設が充実していない」、「通勤・通学が不便である」が上位3位となっており、いずれの割合も前回調査より高くなっています。

また、理由を年齢別でみると、18～29歳では「通勤・通学が不便である」、70歳以上では「日常の買い物が不便である」が、他の年齢と比較し割合が高くなっています。コミュニケーションバスなど公共交通網の整備、オンライン授業やテレワークなどに対応する情報通信環境の整備がより求められると考えられます。

佐伯市が取り組んでいる施策の満足度と重要度について（問5）

32の施策取組の重要度平均スコアは、「災害に強いまち（人）づくり」が第1位、「地域医療と健康増進の充実」が第2位、「学校教育の充実」が第3位となっています。

満足度と重要度の点数化をもとに、満足度と重要度の相互の位置関係による評価分析（ポートフォリオ分析）によると、満足度低く重要度高い（優先して積極的な対応が求められる取組）施策は、「住宅環境の整備」、「道路・情報インフラの整備」、「生活交通体系の構築」、「地域で支える福祉活動の推進」、「農業の振興」、「商工業の振興」となっています。

年齢層別（18～29歳、30～59歳、60歳以上）の評価分析（ポートフォリオ分析）によると、18～29歳と30～59歳において、「地域医療と健康増進の充実」、「子どもたちが健やかに育つまちづくり」、「学校教育の充実」などが挙げられており、「保健医療体制」及び「教育文化」の充実が求められています。

今後の佐伯市の施策について（問7）

32の施策のうち、特に力を入れて取り組んでもらいたい施策として、市全体では「災害に強いまち（人）づくり」が第1位、「子どもたちが健やかに育つまちづくり」が第2位、「地域医療と健康増進の充実」が第3位となっており、32の施策取組の重要度平均スコアの上位項目と一致しています。

地区別でみると、全体と比較し佐伯地区、佐伯東地区は「中心市街地の活性化」が第3位、宇目地区は「自然環境の保全」が第1位、鶴見地区は「水産業の振興」「子どもたちが健やかに育つまちづくり」が第2位となっており、当然のことながら、地域によって必要とする施策が異なるため、地域の実情に合わせた施策の展開が必要と考えられます。

II 調査結果概要

佐伯市のまちづくりについて（問8・問9）

佐伯市のまちづくりにおいて、もっとも重要なことについて、「若い人が住む、活力のあるまち」が第1位、「生活環境が優れた住みよいまち」が第2位、「生活が楽しく、はりのあるまち」が第3位となっています。前回調査と比較すると、「若い人が住む、活力のあるまち」の割合は低く、「生活環境が優れた住みよいまち」の割合は高くなっています。

年齢別でみると、18～39歳では「生活環境が優れた住みよいまち」が第1位、40歳以上では「若い人が住む、活力のあるまち」が第1位となっており、若い人にとって住みよいまちづくりを進めることは、全ての年代にとってよりよいまちづくりの推進に繋がると考えられます。

今後の佐伯市のまちづくりを「市民」と「行政」が協力して進めるためには、どのようなことをすべきだと思うかについて、「情報公開を進めるなど、市民への情報提供に努めるべきである」が第1位、「行政活動の透明性を高めることにより、住民と情報の共有を図るべきである」が第2位、「これまで以上に、市民の意見を聴く機会を増やすべきである」が第3位と情報発信・情報共有が強く望まれています。

本市は「市政出前講座」、「市報さいき」、「佐伯市ホームページ」、「公式SNS」、「行政チャンネル」など様々なツールを活用し、情報発信を行っているものの、市民はより多くの情報提供を求めています。年齢別などターゲットをより細分化した「情報発信ツール」及び「情報コンテンツ」について再検討する必要があると考えられます。

市役所(市民サービス)について（問12）

市役所に対する評価について、評価が高い（「そう思う」+「ややそう思う」）項目は、「ア. 気軽に市役所や振興局へ行くことができる」が最も高く、次いで「ウ. 職員の対応が良い」、「イ. 窓口・利用したい課・係がわかりやすい」となっています。

一方、評価が低い（「あまりそう思わない」+「そう思わない」）項目は、「カ. 市民の意見が市政に反映されている」が最も低く、次いで「キ. まちづくりが計画的に行われている」、「オ. 知りたい情報が気軽に手に入る」となっており、特に「カ. 市民の意見が市政に反映されている」の評価割合（高評価-低評価）は-31.3ポイントとなっています。

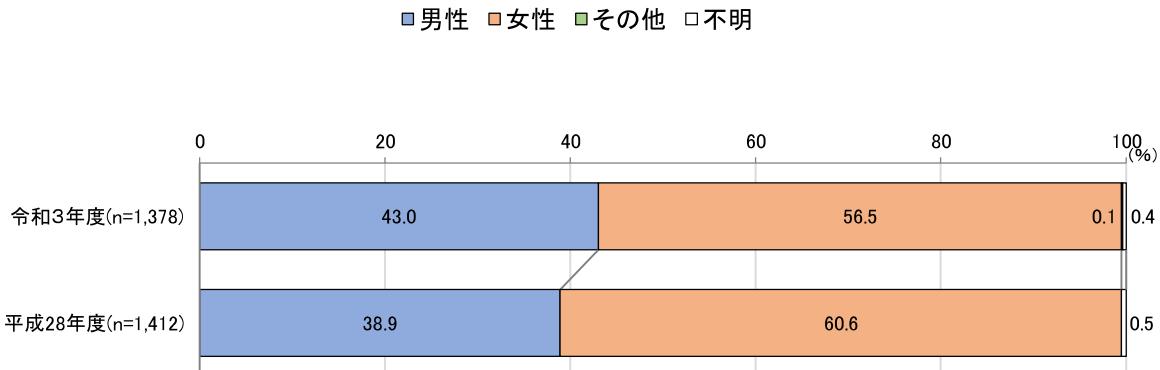
市役所に対する評価のうち、窓口業務等については一定の評価が得られているものの、前段の「佐伯市のまちづくり」の課題同様、情報発信・情報共有が喫緊の課題であると考えられ、地域住民ニーズの把握及びターゲットごとの情報提供手段・情報共有について深堀する必要があると考えられます。

III 調査結果

あなた自身のことについて

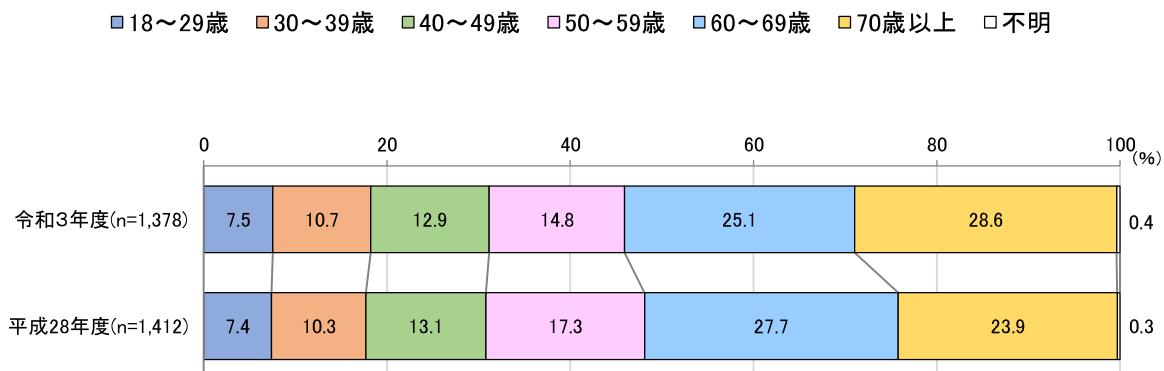
ア あなたの性別を教えてください。

全体でみると、「男性」が43.0%、「女性」が56.5%、「その他」が0.1%となっています。



イ あなたの年齢を教えてください。

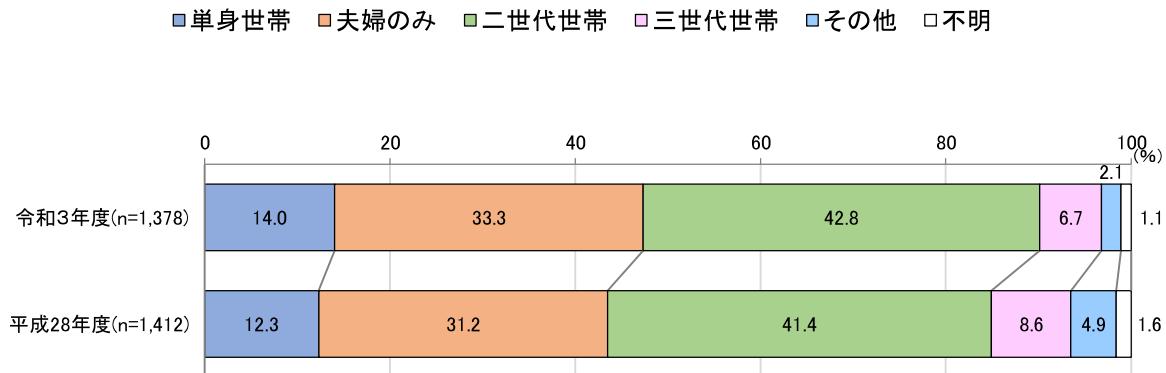
全体でみると、「70歳以上」が28.6%と最も高く、次いで「60～69歳」の25.1%、「50～59歳」の14.8%となっています。



III 調査結果

ウ あなたのお宅の家族構成を教えてください。

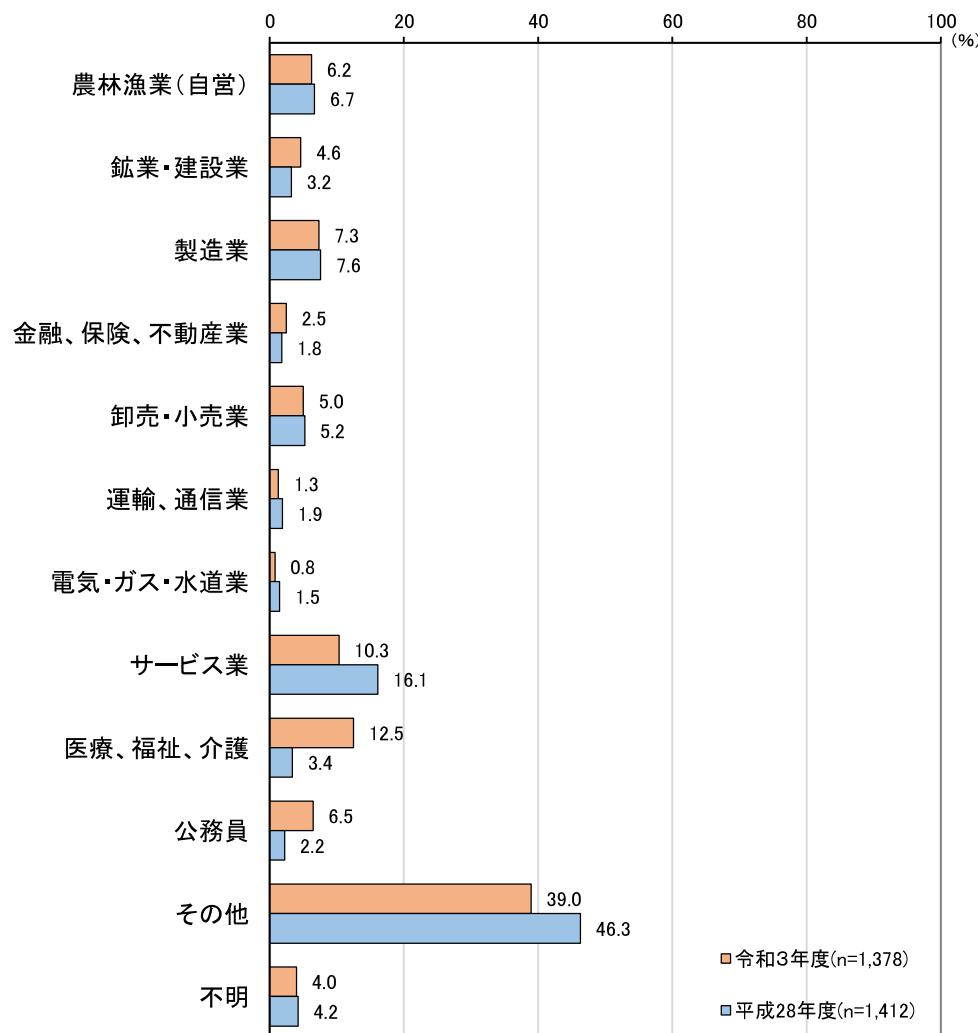
全体でみると、「二世代世帯」が42.8%と最も高く、次いで「夫婦のみ」の33.3%、「単身世帯」の14.0%となっています。



その他の回答	人数
兄弟姉妹	5
同棲	1
四世代	1
祖母とその孫夫婦と子供	1
叔父、親、兄弟	1
親と同居だが自身は大分市に単身	1
3人	1
義姉と同居	1

工 あなたの職業を教えてください。

全体でみると、「その他」を除くと「医療、福祉、介護」が12.5%と最も高く、次いで「サービス業」の10.3%、「製造業」の7.3%となっています。

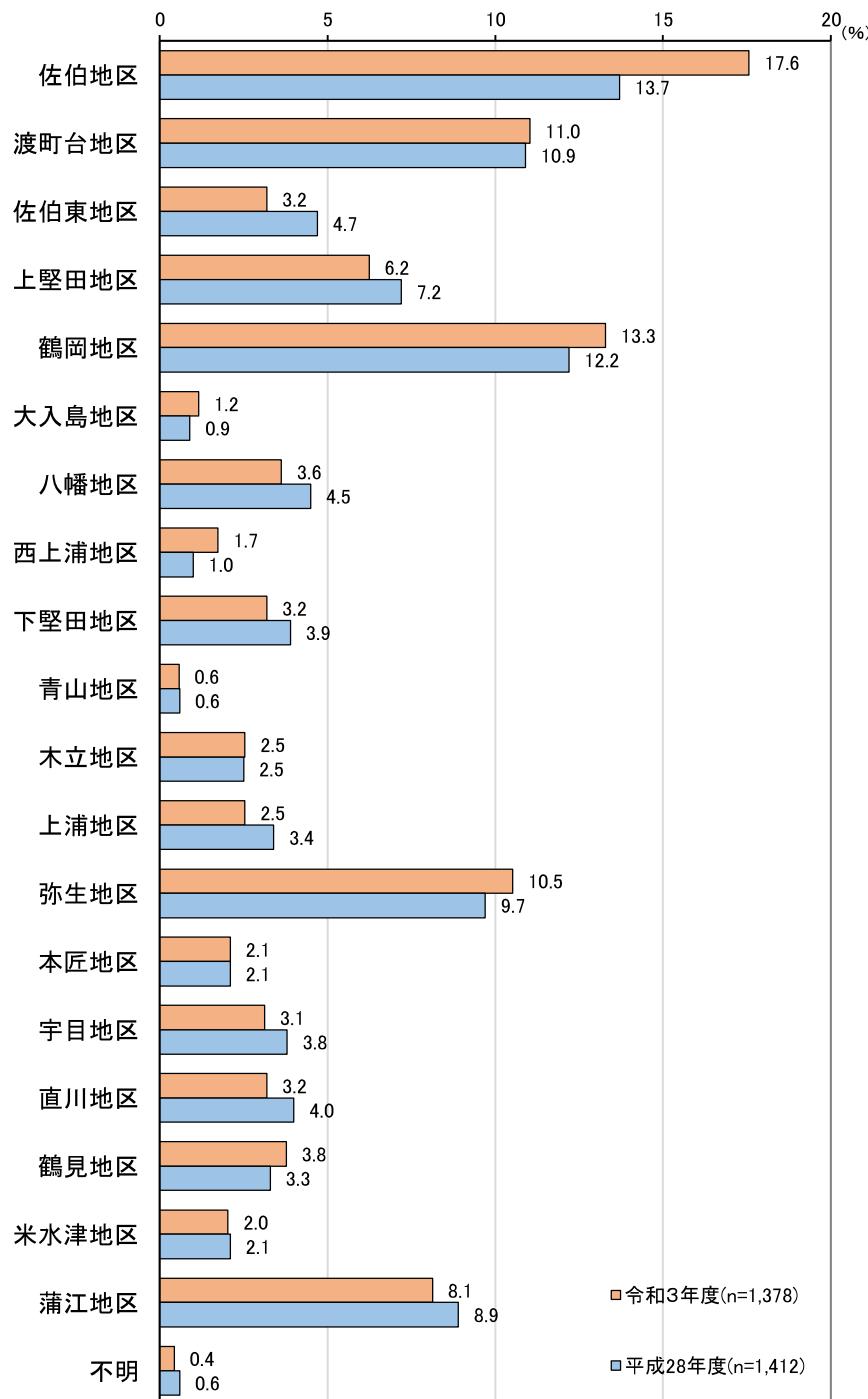


主なその他の回答	人数
無職	174
家事専業	98
年金生活	45
学生	33
パート・アルバイト・フリーター	12
団体職員	7
事務	4

III 調査結果

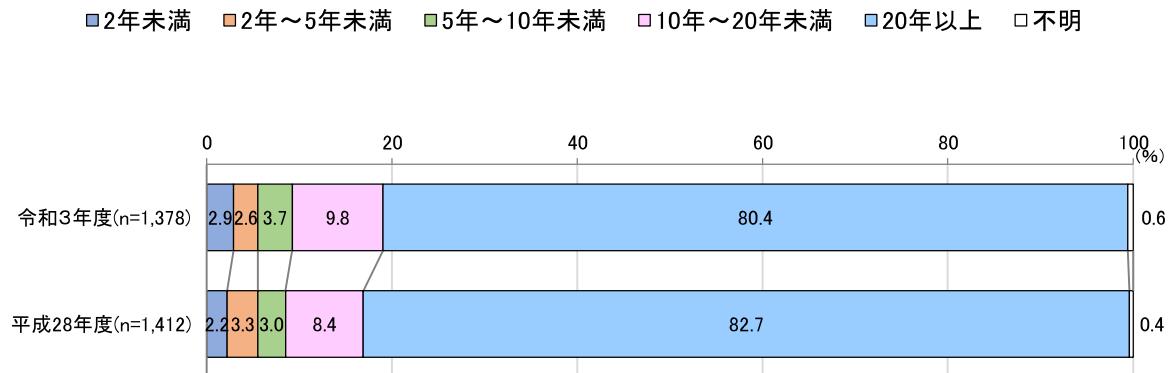
才 あなたのお住まいの地域を教えてください。

全体でみると、「佐伯地区」が17.6%と最も高く、次いで「鶴岡地区」の13.3%、「渡町台地区」の11.0%となっています。



力 あなたが佐伯市にお住まいの年数を教えてください。

全体でみると、「20年以上」が80.4%と最も高く、次いで「10年～20年未満」の9.8%、「5年～10年未満」の3.7%となっています。



III 調査結果

あなたの日常生活、住みやすさについて

問1 佐伯市に愛着を感じますか。(回答は1つ) <詳細: 76P>

『愛着を感じる(「非常に愛着を感じる」+「多少愛着を感じる」)』が約9割

全体でみると、「多少愛着を感じる」が45.6%と最も高く、次いで「非常に愛着を感じる」の42.3%、「あまり愛着を感じない」の9.9%となっています。

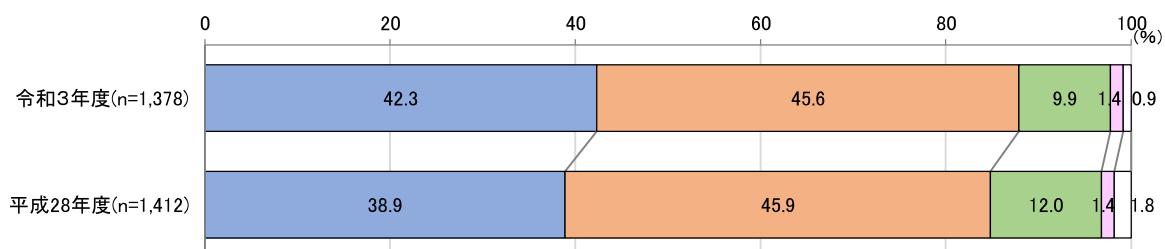
性別でみると、『愛着を感じる』は男性(86.5%)より女性(89.3%)の方が2.8ポイント高くなっています。

年齢別でみると、「70歳以上」を除く年齢で「多少愛着を感じる」の割合が最も高く、「70歳以上」は「非常に愛着を感じる」の割合が最も高くなっています。

【前回調査との比較】

『愛着を感じる』が3.1ポイント高くなっています。

■非常に愛着を感じる □多少愛着を感じる ▲あまり愛着を感じない △まったく愛着を感じない □不明



問2 佐伯市は住みよいところだと思いますか。(回答は1つ) <詳細: 78P>

『住みよい(「住みよい」+「どちらかと言えば住みよい」)』が8割以上

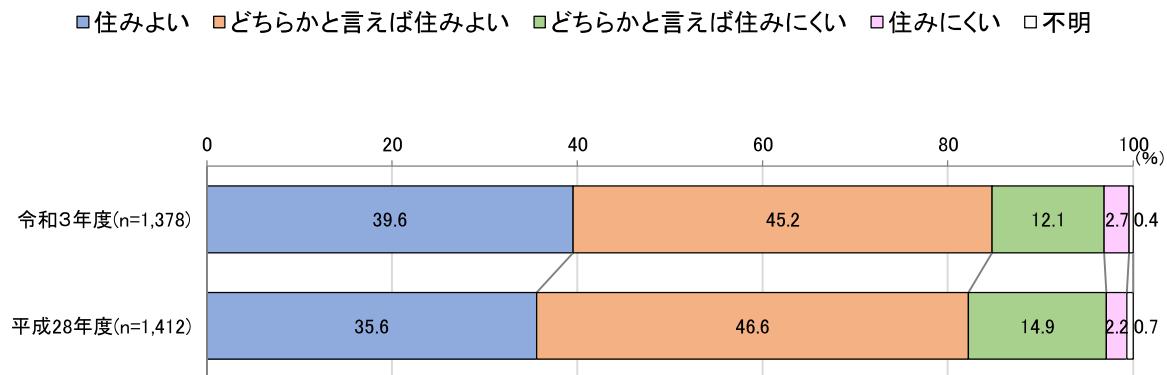
全体でみると、「どちらかと言えば住みよい」が45.2%と最も高く、次いで「住みよい」の39.6%、「どちらかと言えば住みにくい」の12.1%となっています。

性別でみると、『住みよい』は男性(84.0%)より女性(85.6%)の方が1.6ポイント高くなっています。

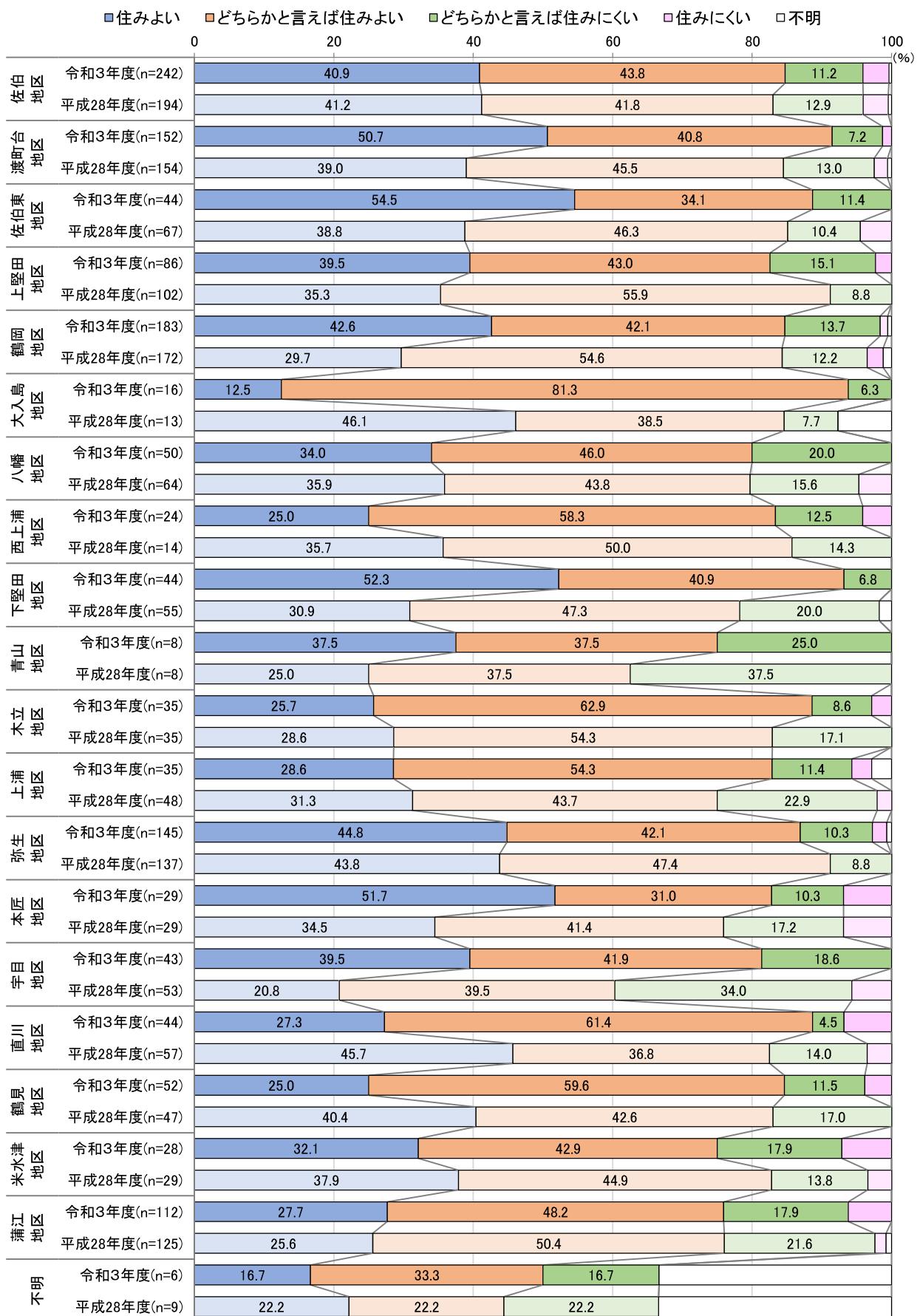
年齢別でみると、「70歳以上」を除く年齢で「どちらかと言えば住みよい」の割合が最も高く、「70歳以上」は「住みよい」の割合が最も高くなっています。

【前回調査との比較】

『住みよい』が2.6ポイント高くなっています。



III 調査結果



問3 問2で「1. 住みよい」「2. どちらかと言えば住みよい」とお答えした方にお聞きします。
そう思われる理由は何ですか。(回答は2つまで) <詳細: 80P>

「緑が多く、自然環境に恵まれている」が61.5%と最も高い

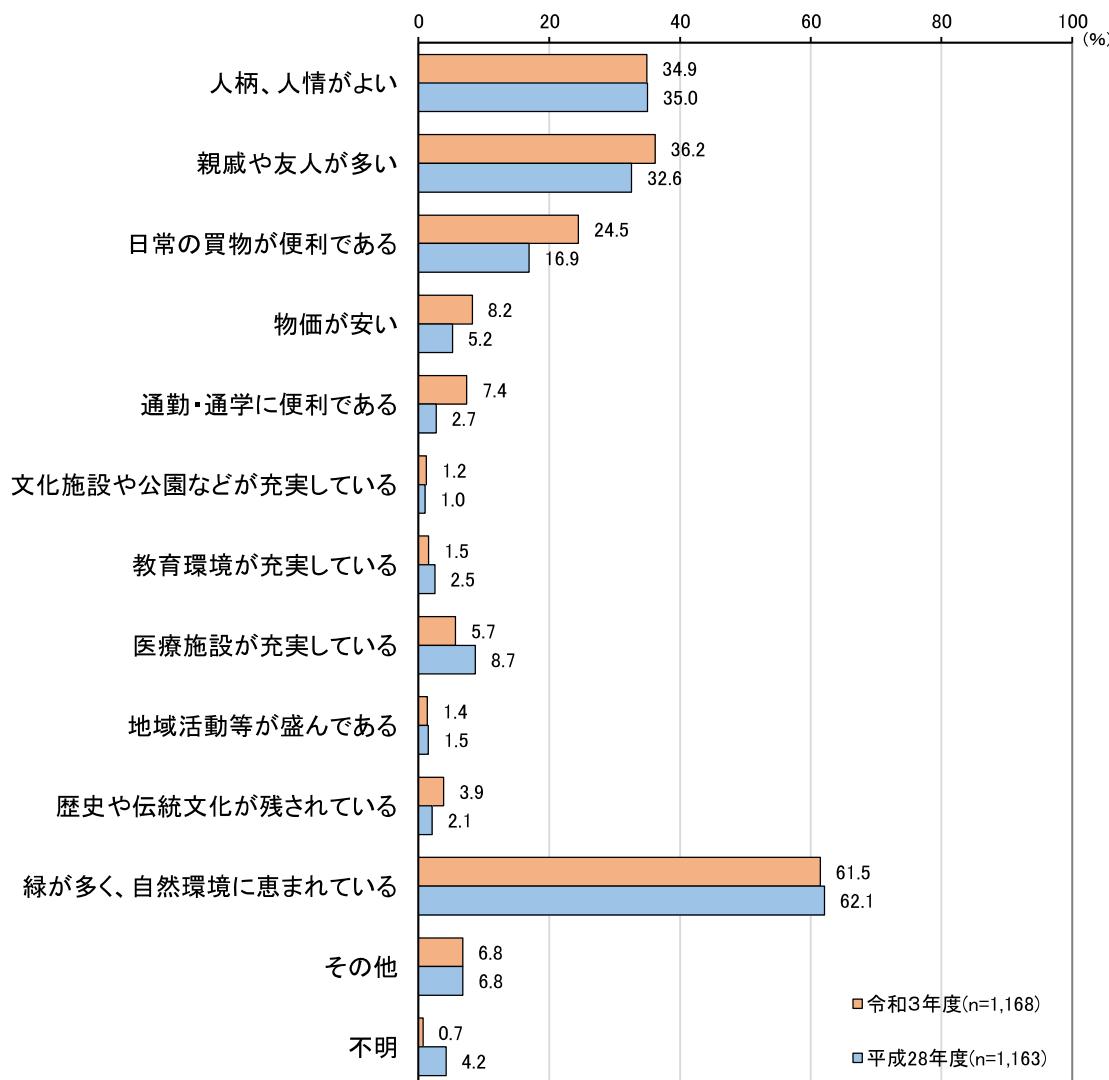
全体でみると、「緑が多く、自然環境に恵まれている」が61.5%と最も高く、次いで「親戚や友人が多い」の36.2%、「人柄、人情がよい」の34.9%となっています。

性別でみると、男性は「人柄、人情がよい」が37.1%と2番目に高く、女性は「親戚や友人が多い」が38.9%と2番目に高くなっています。

地区別でみると、「日常の買い物が便利である」において全体(24.5%)を下回っている地区は、「大入島地区(※)」「西上浦地区(※)」「下堅田地区」「青山地区(※)」「木立地区」及び、「弥生地区」を除く合併前旧町村となっています。

【前回調査との比較】

上位3項目に、大きな変化はみられません。「日常の買い物が便利である」が7.6ポイント高くなっています。



III 調査結果

問4 問2で「3. どちらかと言えば住みにくい」「4. 住みにくい」とお答えした方にお聞きします。そう思われる理由は何ですか（回答は2つまで） <詳細：83P>

「日常の買い物が不便である」が49.0%と最も高い

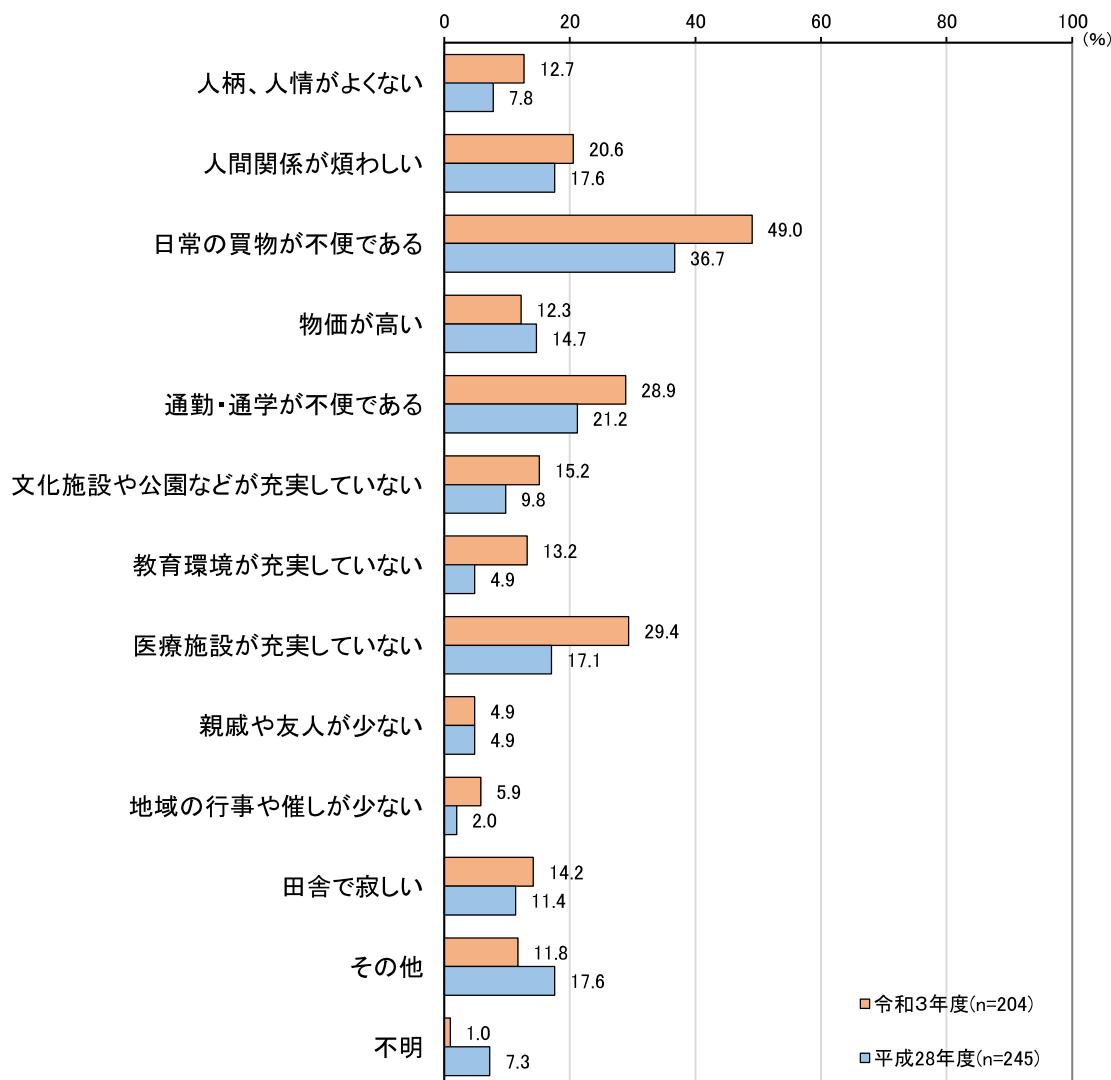
全体でみると、「日常の買い物が不便である」が49.0%と最も高く、次いで「医療施設が充実していない」の29.4%、「通勤・通学が不便である」の28.9%となっています。

性別でみると、「日常の買い物が不便である」は男性（47.3%）より女性（50.0%）の方が2.7ポイント高くなっています。

地区別でみると、「日常の買い物が不便である」において全体（49.0%）を上回っている地区は、「大入島地区（※）」「下堅田地区」「青山地区（※）」「木立地区」及び、「弥生地区」を除く合併前旧町村となっています。

【前回調査との比較】

「日常の買い物が不便である」が12.3ポイント高く、「医療施設が充実していない」が12.3ポイント高くなっています。



佐伯市が取り組んでいる施策の満足度と重要度について

問5 次の設問(1)～(32)は、佐伯市総合計画（前期基本計画）に掲げて取り組んでいる32の施策です。各取組に対し、あなたが日頃感じる「現状の満足度」と「今後の重要性」について、それぞれ当てはまる番号に○印を付けてください。 <詳細：86～213P>

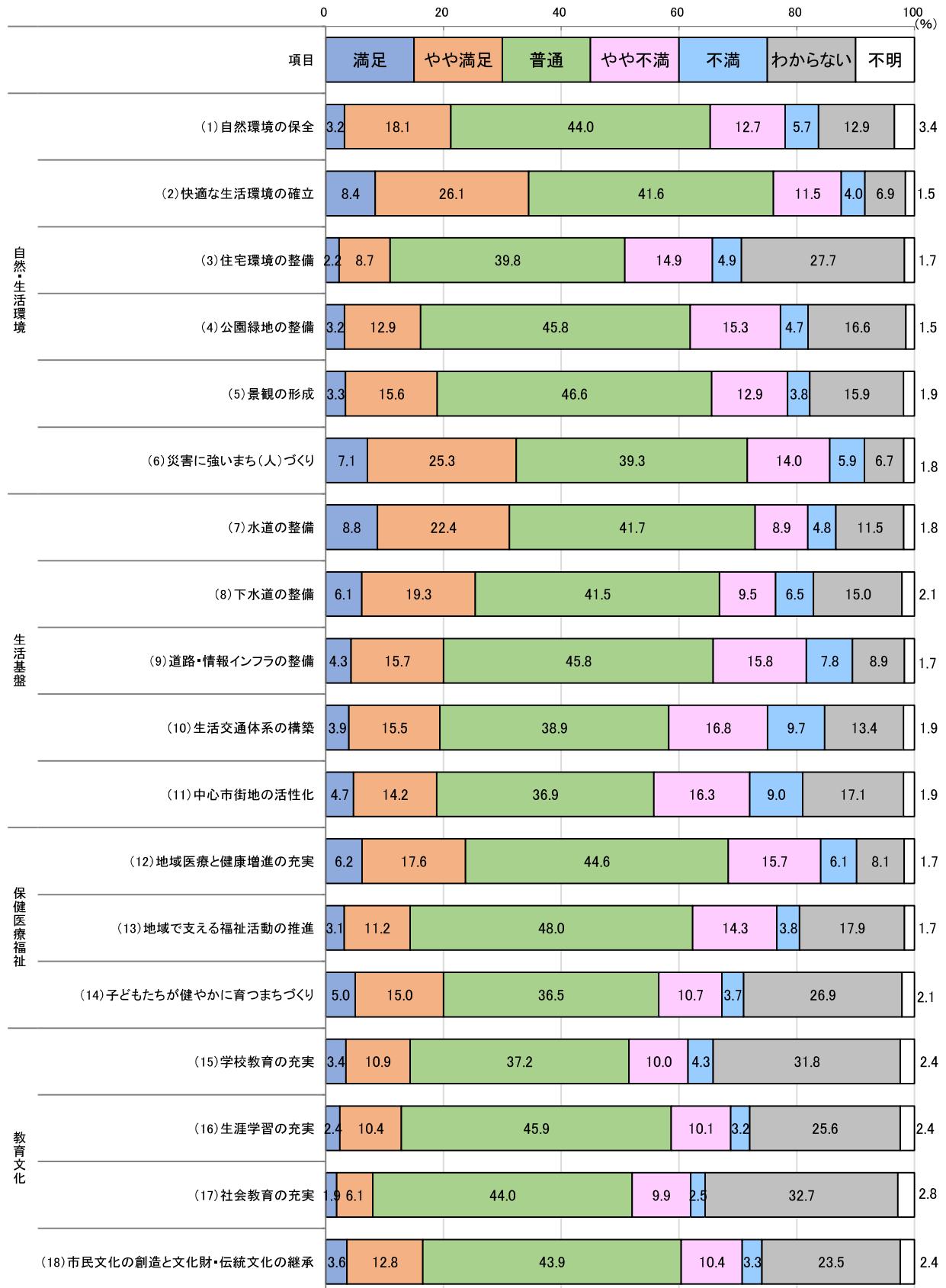
(施策一覧)

自然・生活環境	(1) 自然環境の保全
	(2) 快適な生活環境の確立
	(3) 住宅環境の整備
	(4) 公園緑地の整備
	(5) 景観の形成
	(6) 災害に強いまち（人）づくり
生活基盤	(7) 水道の整備
	(8) 下水道の整備
	(9) 道路・情報インフラの整備
	(10) 生活交通体系の構築
	(11) 中心市街地の活性化
福祉医療	(12) 地域医療と健康増進の充実
	(13) 地域で支える福祉活動の推進
	(14) 子どもたちが健やかに育つまちづくり
教育文化	(15) 学校教育の充実
	(16) 生涯学習の充実
	(17) 社会教育の充実
	(18) 市民文化の創造と文化財・伝統文化の継承
産業振興	(19) 農業の振興
	(20) 林業の振興
	(21) 水産業の振興
	(22) ブランド化・流通の促進
	(23) 商工業の振興
	(24) 観光産業の振興
まちづくり	(25) 人権を尊重するまちづくり
	(26) 男女共同参画のまちづくり
	(27) 市民協働のまちづくり
	(28) 「食」のまちづくり
	(29) 移住定住の促進
	(30) 国際化の推進
	(31) 市民サービスの充実
	(32) 新たな地域コミュニティの構築

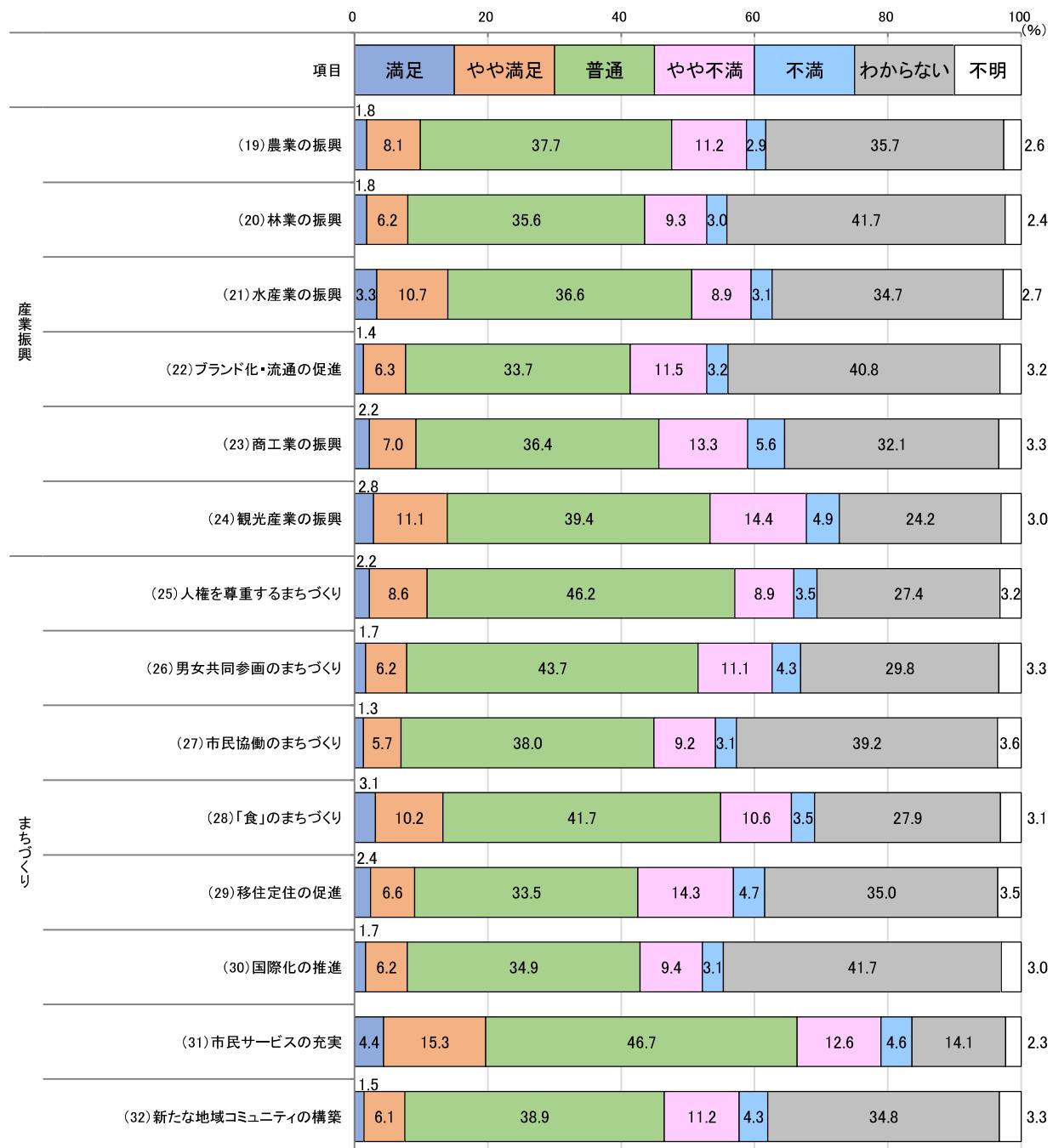
III 調査結果

■ 満足度割合 ■

3.2 の施策取組の満足度の割合は、次のグラフのとおりです。



III 調査結果



III 調査結果

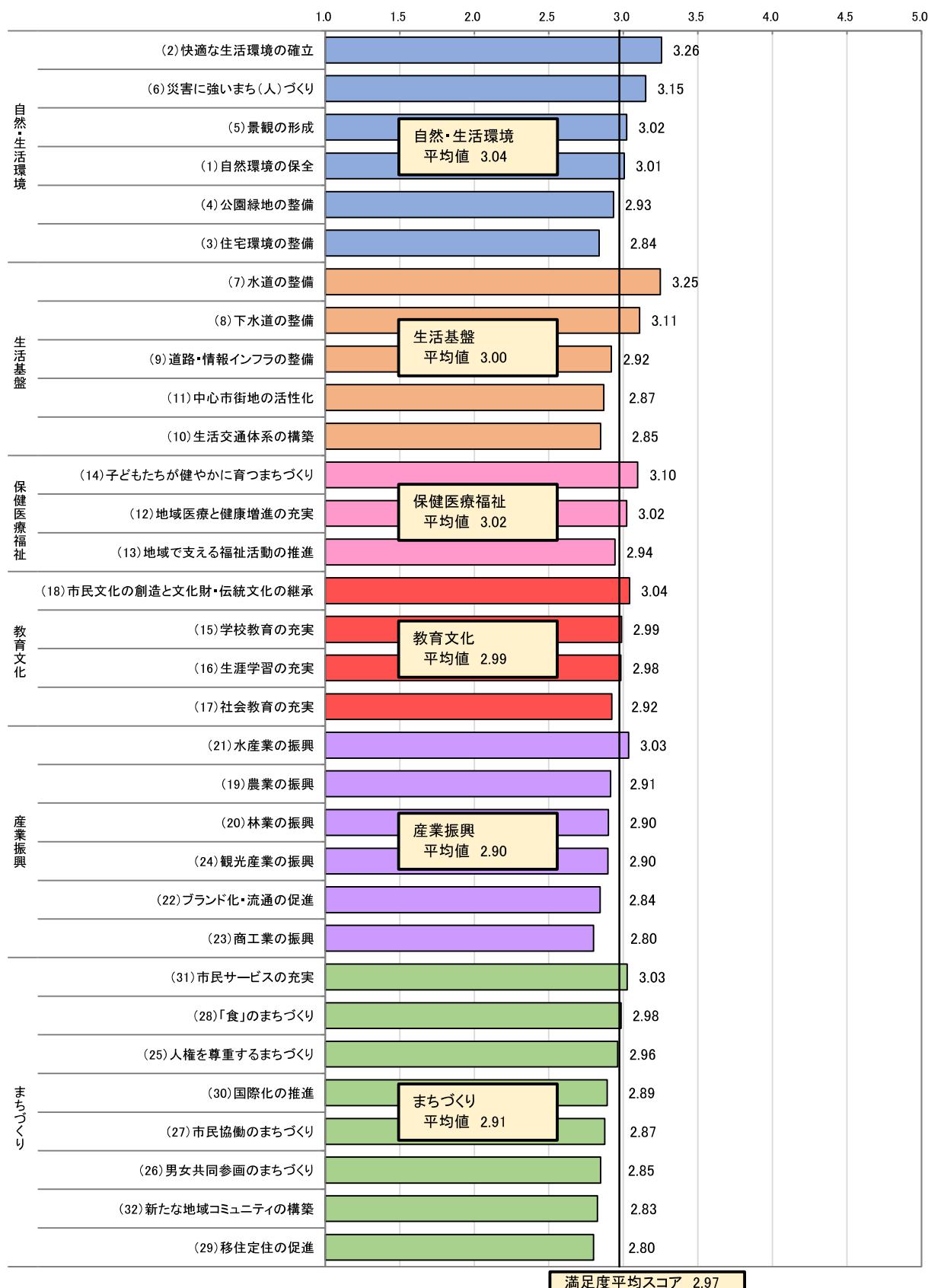
■ 満足度平均スコア ■

3.2 の施策取組の満足度平均スコアと順位は、次の表のとおりです。

順位	取組	スコア
1	(2) 快適な生活環境の確立	3.26
2	(7) 水道の整備	3.25
3	(6) 災害に強いまち(人)づくり	3.15
4	(8) 下水道の整備	3.11
5	(14) 子どもたちが健やかに育つまちづくり	3.10
6	(18) 市民文化の創造と文化財・伝統文化の継承	3.04
7	(21) 水産業の振興	3.03
8	(31) 市民サービスの充実	3.03
9	(5) 景観の形成	3.02
10	(12) 地域医療と健康増進の充実	3.02
11	(1) 自然環境の保全	3.01
12	(15) 学校教育の充実	2.99
13	(28) 「食」のまちづくり	2.98
14	(16) 生涯学習の充実	2.98
15	(25) 人権を尊重するまちづくり	2.96
16	(13) 地域で支える福祉活動の推進	2.94
17	(4) 公園緑地の整備	2.93
18	(17) 社会教育の充実	2.92
19	(9) 道路・情報インフラの整備	2.92
20	(19) 農業の振興	2.91
21	(20) 林業の振興	2.90
22	(24) 観光産業の振興	2.90
23	(30) 国際化の推進	2.89
24	(27) 市民協働のまちづくり	2.87
25	(11) 中心市街地の活性化	2.87
26	(26) 男女共同参画のまちづくり	2.85
27	(10) 生活交通体系の構築	2.85
28	(22) ブランド化・流通の促進	2.84
29	(3) 住宅環境の整備	2.84
30	(32) 新たな地域コミュニティの構築	2.83
31	(29) 移住定住の促進	2.80
32	(23) 商工業の振興	2.80

III 調査結果

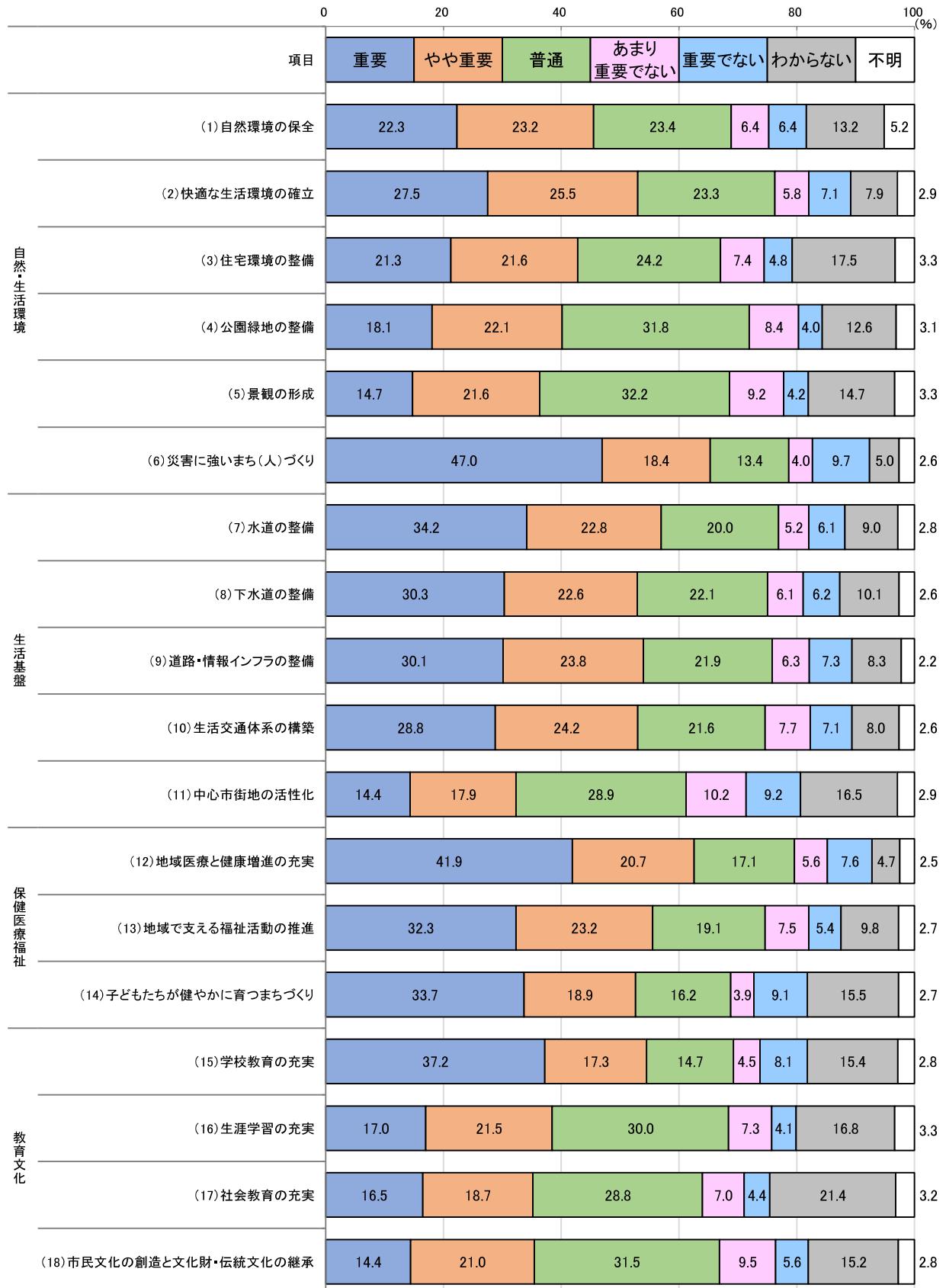
32 の施策取組の満足度平均スコアは、次のグラフのとおりです。



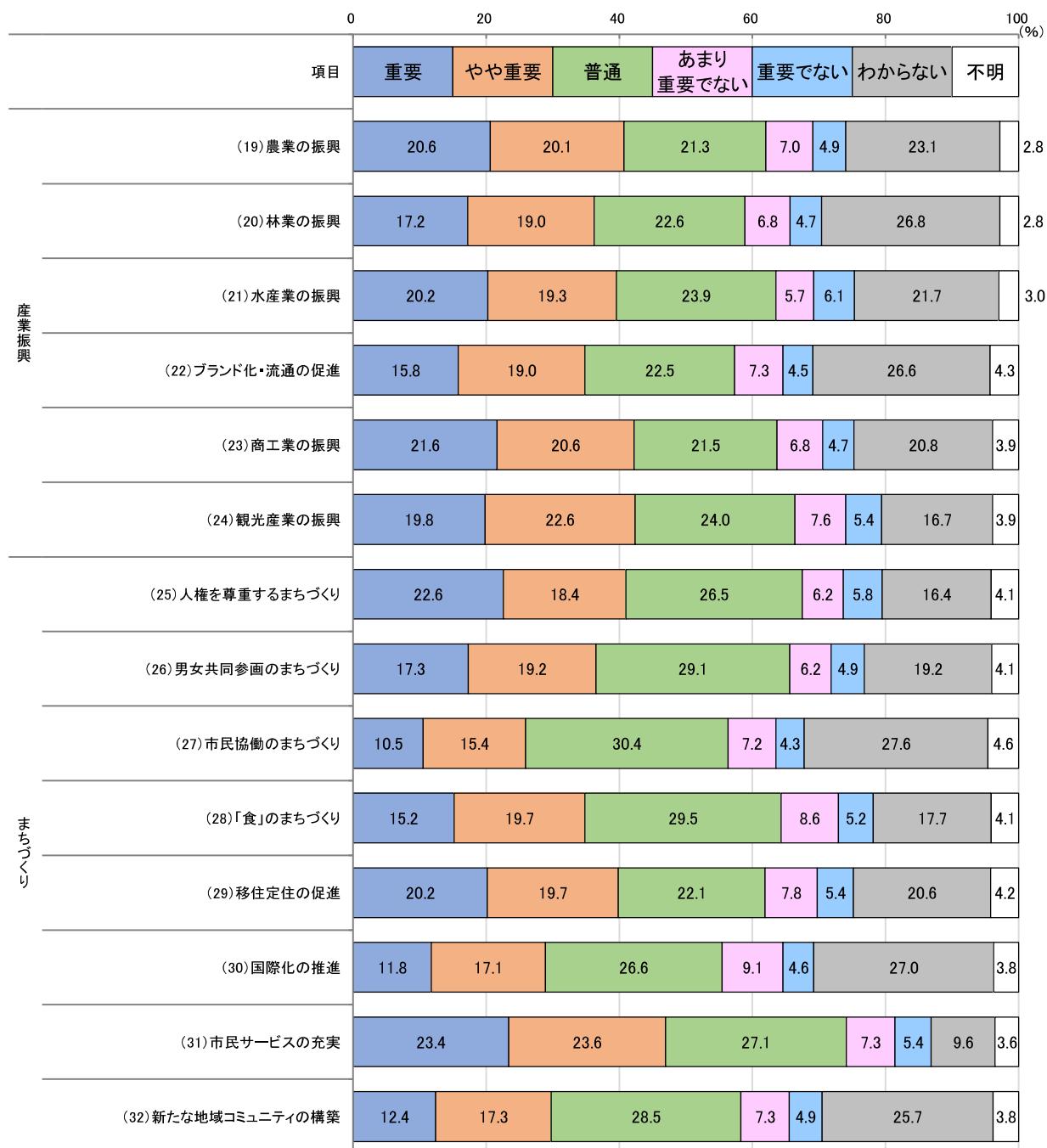
III 調査結果

■ 重要度割合 ■

32 の施策取組の重要度の割合は、次のグラフのとおりです。



III 調査結果



III 調査結果

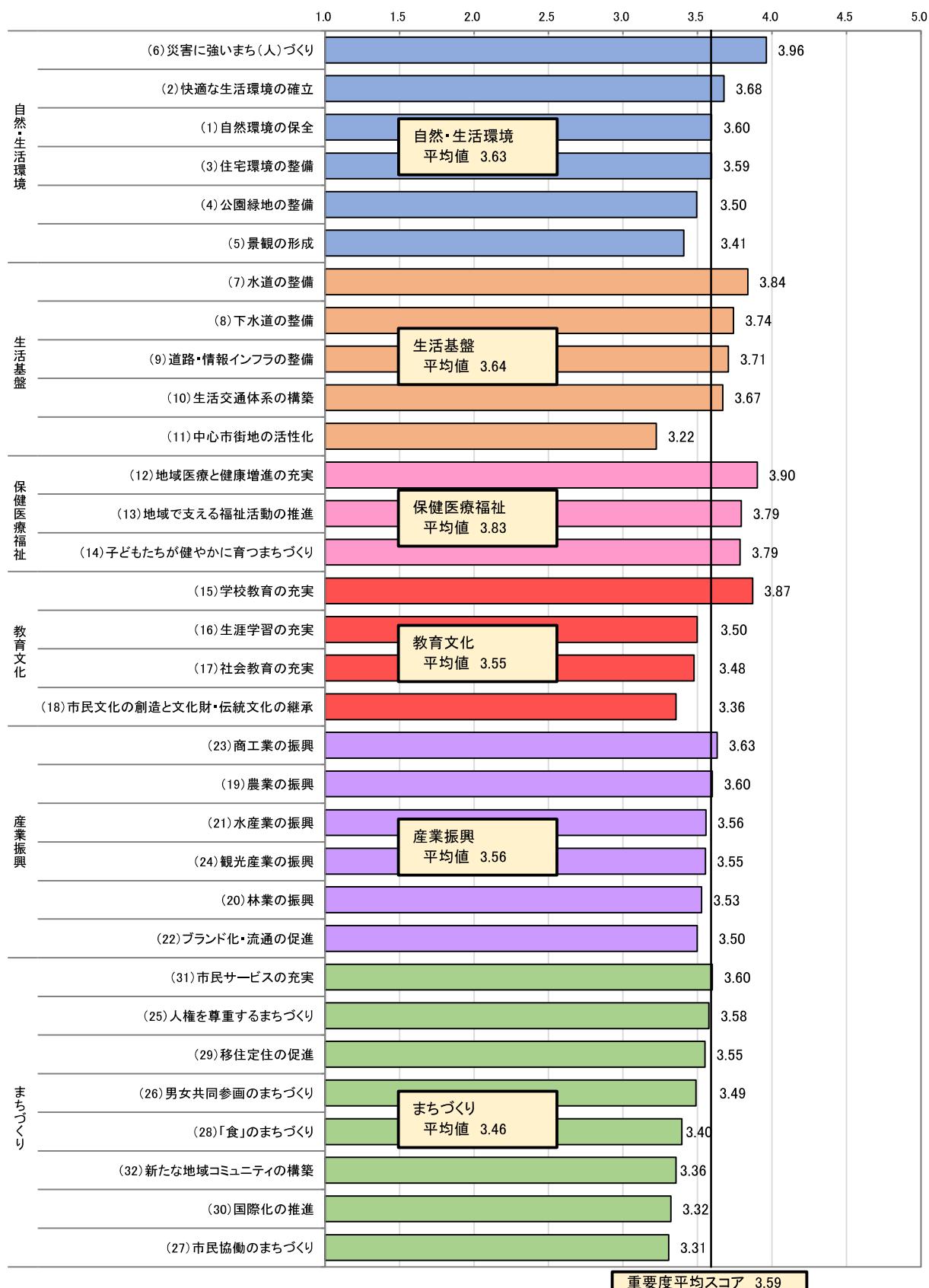
■ 重要度平均スコア ■

3.2 の施策取組の重要度平均スコアと順位は、次の表のとおりです。

順位	取組	スコア
1	(6) 災害に強いまち（人）づくり	3.96
2	(12) 地域医療と健康増進の充実	3.90
3	(15) 学校教育の充実	3.87
4	(7) 水道の整備	3.84
5	(13) 地域で支える福祉活動の推進	3.79
6	(14) 子どもたちが健やかに育つまちづくり	3.79
7	(8) 下水道の整備	3.74
8	(9) 道路・情報インフラの整備	3.71
9	(2) 快適な生活環境の確立	3.68
10	(10) 生活交通体系の構築	3.67
11	(23) 商工業の振興	3.63
12	(19) 農業の振興	3.60
13	(31) 市民サービスの充実	3.60
14	(1) 自然環境の保全	3.60
15	(3) 住宅環境の整備	3.59
16	(25) 人権を尊重するまちづくり	3.58
17	(21) 水産業の振興	3.56
18	(24) 観光産業の振興	3.55
19	(29) 移住定住の促進	3.55
20	(20) 林業の振興	3.53
21	(16) 生涯学習の充実	3.50
22	(22) ブランド化・流通の促進	3.50
23	(4) 公園緑地の整備	3.50
24	(26) 男女共同参画のまちづくり	3.49
25	(17) 社会教育の充実	3.48
26	(5) 景観の形成	3.41
27	(28) 「食」のまちづくり	3.40
28	(18) 市民文化の創造と文化財・伝統文化の継承	3.36
29	(32) 新たな地域コミュニティの構築	3.36
30	(30) 国際化の推進	3.32
31	(27) 市民協働のまちづくり	3.31
32	(11) 中心市街地の活性化	3.22

III 調査結果

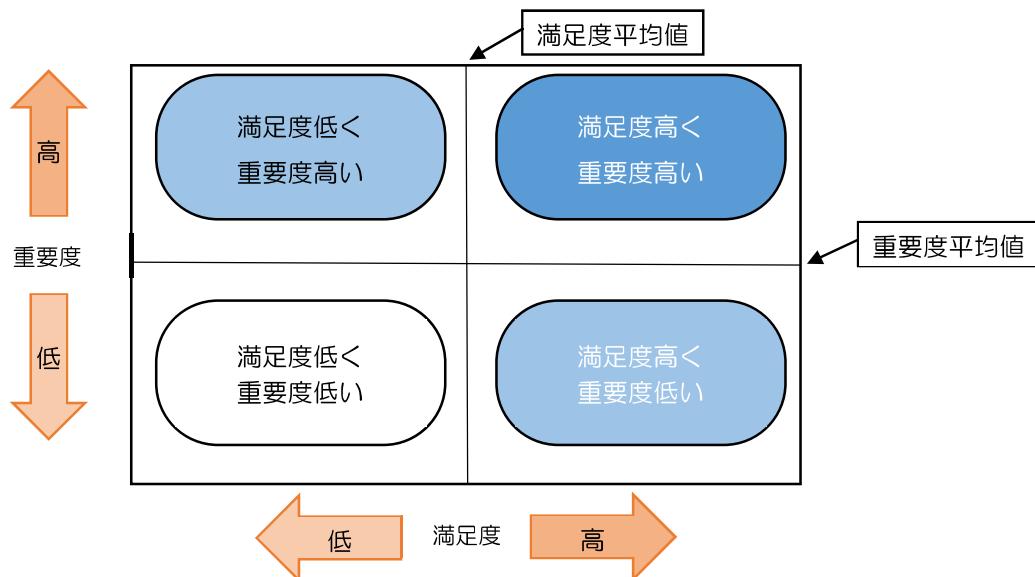
32 の施策取組の重要度平均スコアは、次のグラフのとおりです。



III 調査結果

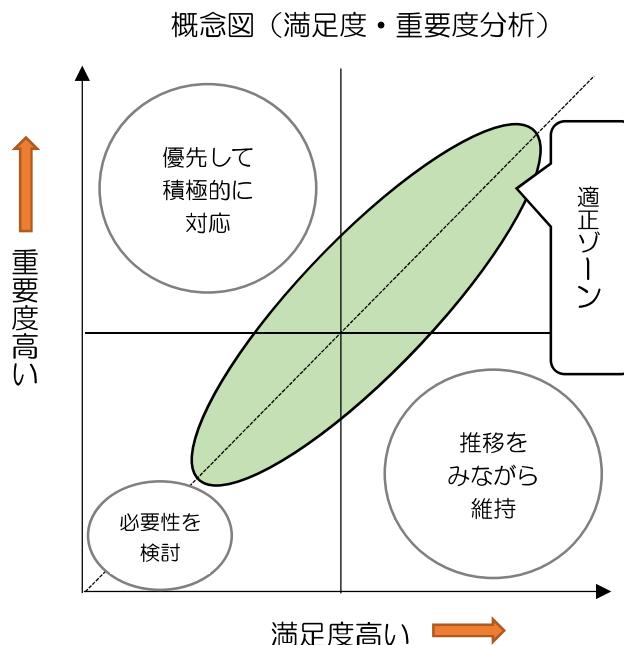
■ 満足度と重要度による分析 ■

満足度と重要度の点数化をもとに、満足度と重要度の相互の位置関係による評価分析（ポートフォリオ分析）を行いました。



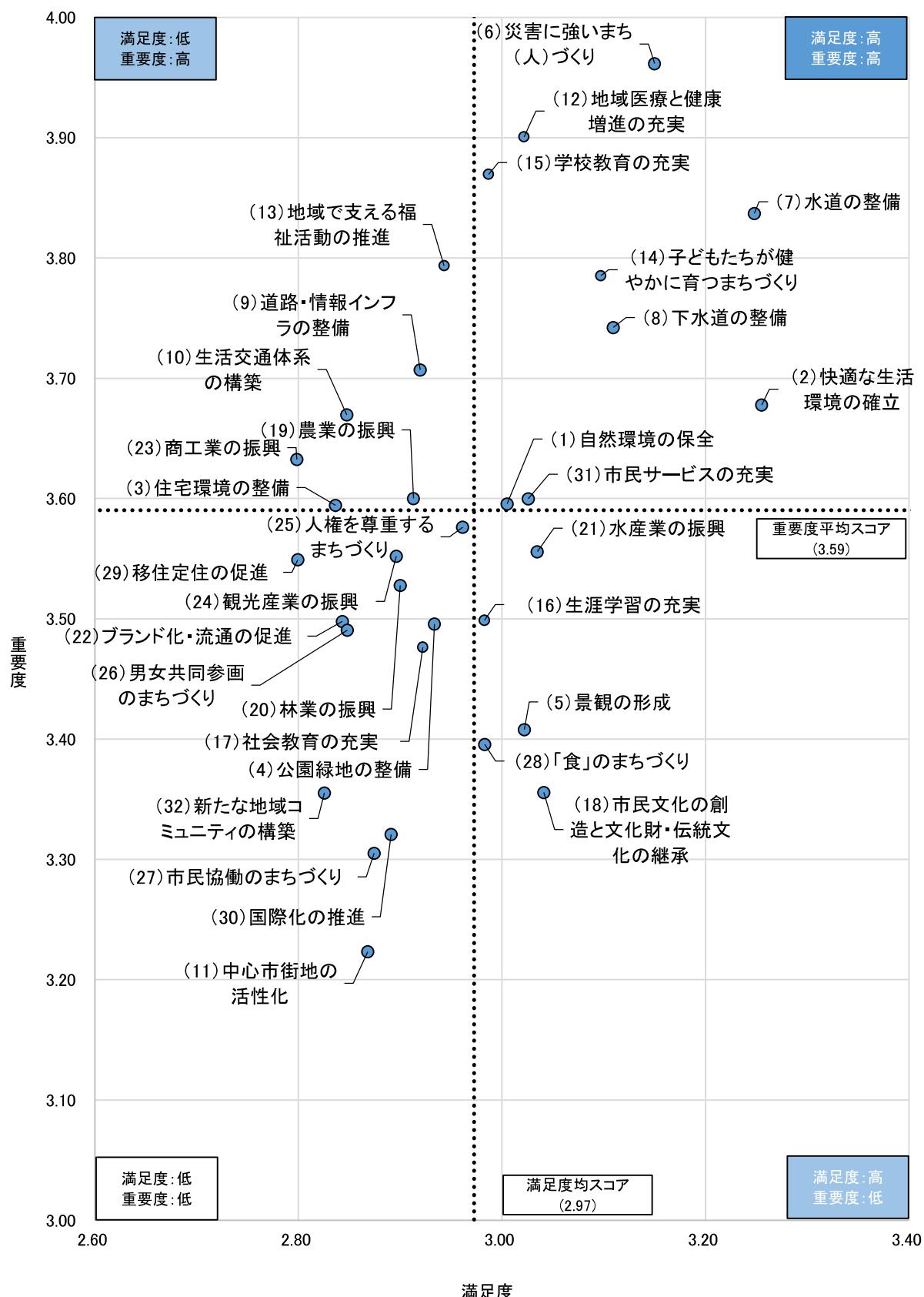
区分	内 容
満足度低く重要度高い	優先して積極的な対応が求められる取組
満足度高く重要度高い	現状を維持し継続が求められる取組
満足度低く重要度低い	推移をみながら改善、必要性を検討する取組
満足度高く重要度低い	推移をみながら維持する取組

なお、下の概念図は、今回の評価分析における満足度と重要度の位置関係の概ね適正な範囲を示したもので



III 調査結果

【全体】重要度・満足度の平均スコアによる相関図 (n=1,378)



III 調査結果

重要度、満足度の平均値で4つに分けた場合は以下の通りになります。

満足度低く重要度高い (優先して積極的な対応が求められる取組)	満足度高く重要度高い (現状を維持し継続が求められる取組)
(3) 住宅環境の整備	(1) 自然環境の保全
(9) 道路・情報インフラの整備	(2) 快適な生活環境の確立
(10) 生活交通体系の構築	(6) 災害に強いまち(人)づくり
(13) 地域で支える福祉活動の推進	(7) 水道の整備
(19) 農業の振興	(8) 下水道の整備
(23) 商工業の振興	(12) 地域医療と健康増進の充実
	(14) 子どもたちが健やかに育つまちづくり
	(15) 学校教育の充実
	(31) 市民サービスの充実

満足度低く重要度低い (推移をみながら改善、必要性を検討する取組)	満足度高く重要度低い (推移をみながら維持する取組)
(4) 公園緑地の整備	(5) 景観の形成
(11) 中心市街地の活性化	(16) 生涯学習の充実
(17) 社会教育の充実	(18) 市民文化の創造と文化財・伝統文化の継承
(20) 林業の振興	(21) 水産業の振興
(22) ブランド化・流通の促進	(28) 「食」のまちづくり
(24) 観光産業の振興	
(25) 人権を尊重するまちづくり	
(26) 男女共同参画のまちづくり	
(27) 市民協働のまちづくり	
(29) 移住定住の促進	
(30) 国際化の推進	
(32) 新たな地域コミュニティの構築	

■ 年齢層による評価分析（ポートフォリオ分析） ■

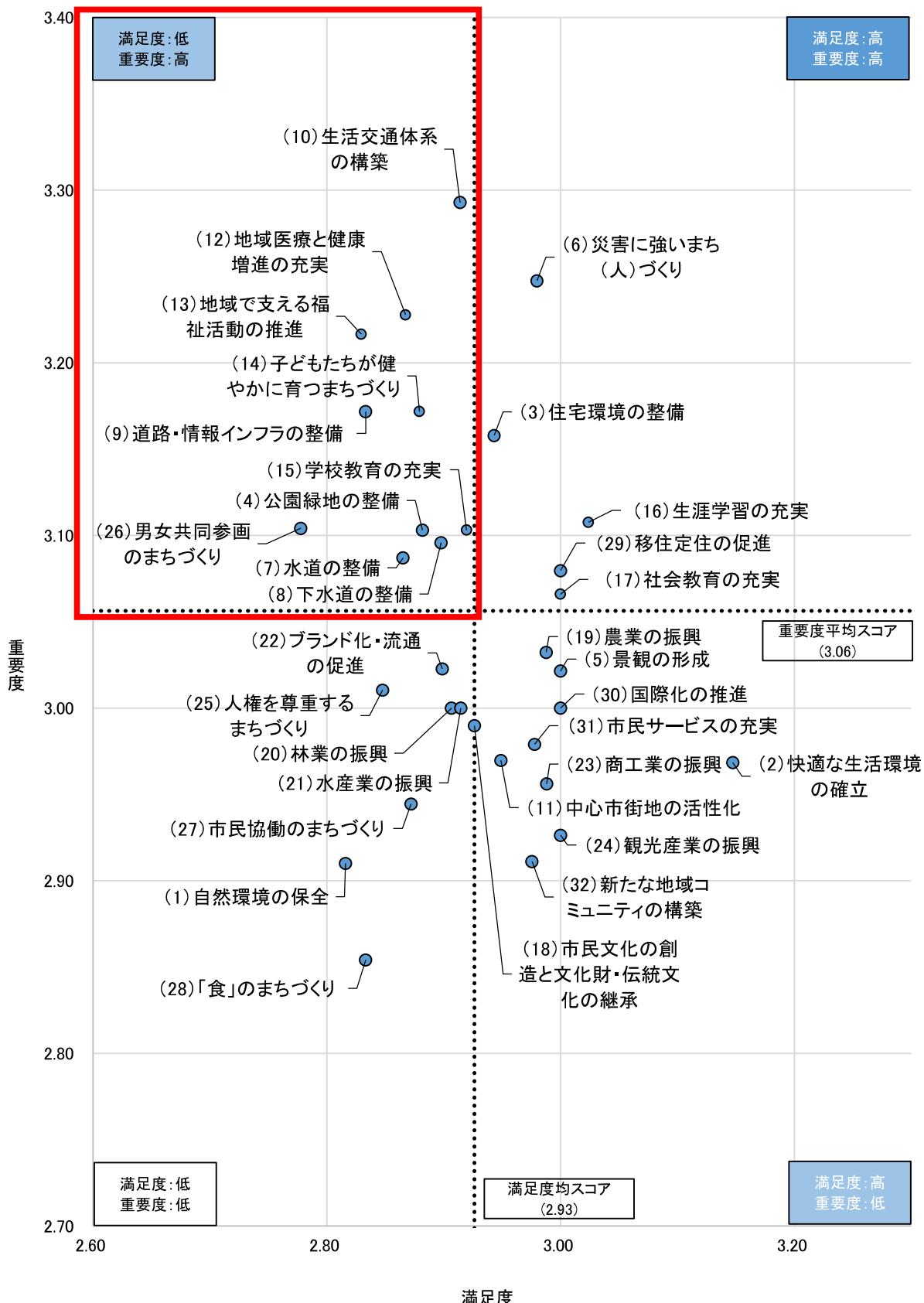
年齢を3区分（18～29歳、30～59歳、60歳以上）に分け、満足度と重要度の相互の位置関係による評価分析（ポートフォリオ分析）を行いました。

年齢区分別の満足度と重要度分析から、満足度低く重要度高い取組（優先して積極的な対応が求められる取組）をみると、全ての年齢において赤文字で表示している「(9)道路・情報インフラの整備」「(10)生活交通体系の構築」「(13)地域で支える福祉活動の推進」が挙げられています。また、18～29歳と30～59歳において、「(4)公園緑地の整備」「(12)地域医療と健康増進の充実」「(15)学校教育の充実」が共通して挙げられています。

区分	満足度低く重要度高い (優先して積極的な対応が求められる取組)
18～29歳	<p>(4) 公園緑地の整備 (7) 水道の整備 (8) 下水道の整備 (9) 道路・情報インフラの整備 (10) 生活交通体系の構築 (12) 地域医療と健康増進の充実 (13) 地域で支える福祉活動の推進 (14) 子どもたちが健やかに育つまちづくり (15) 学校教育の充実 (26) 男女共同参画のまちづくり</p>
30～59歳	<p>(3) 住宅環境の整備 (4) 公園緑地の整備 (9) 道路・情報インフラの整備 (10) 生活交通体系の構築 (12) 地域医療と健康増進の充実 (13) 地域で支える福祉活動の推進 (15) 学校教育の充実 (31) 市民サービスの充実</p>
60歳以上	<p>(9) 道路・情報インフラの整備 (10) 生活交通体系の構築 (13) 地域で支える福祉活動の推進 (19) 農業の振興 (23) 商工業の振興</p>

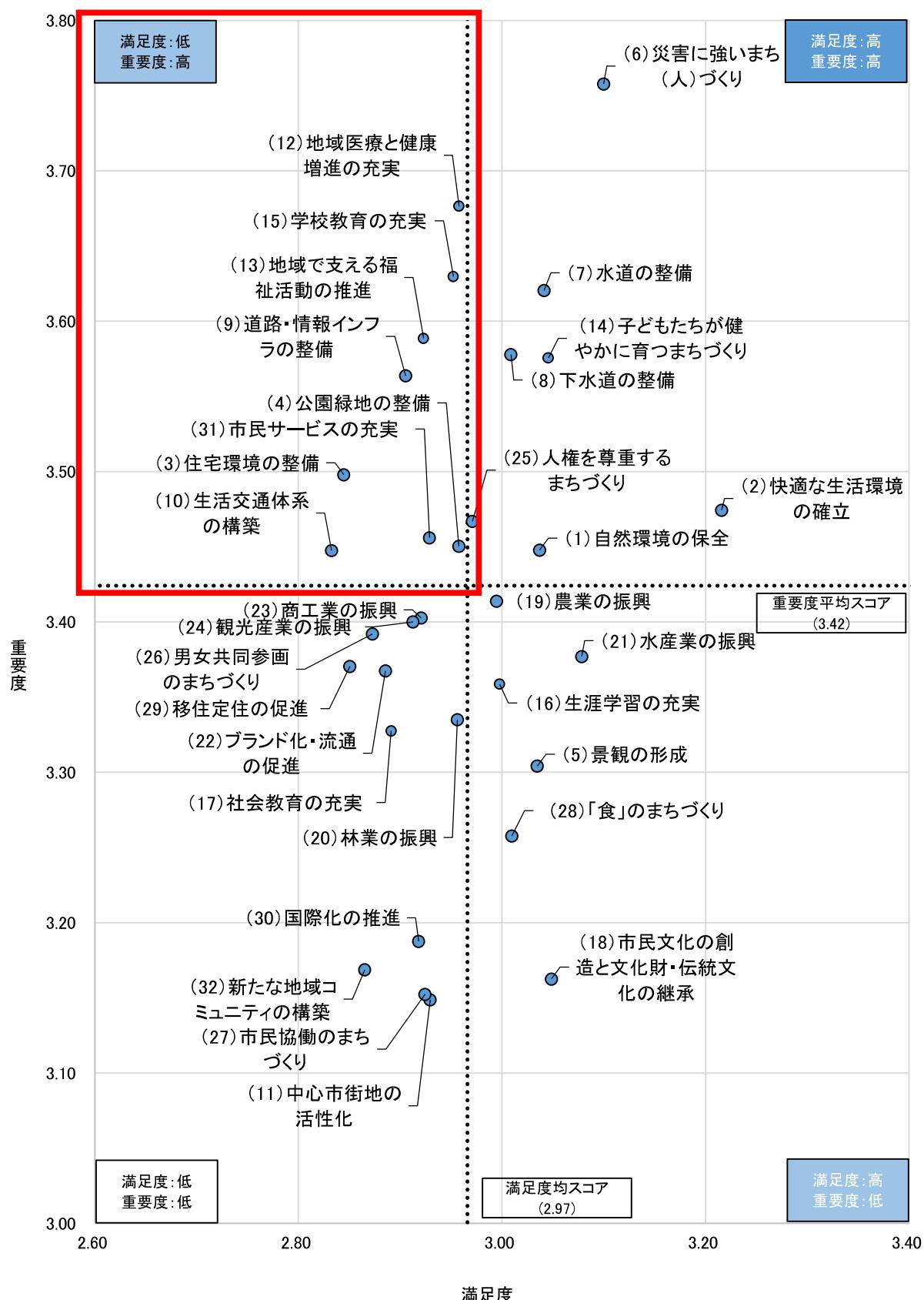
III 調査結果

【18歳～29歳】重要度・満足度の平均スコアによる相関図 (n=104)



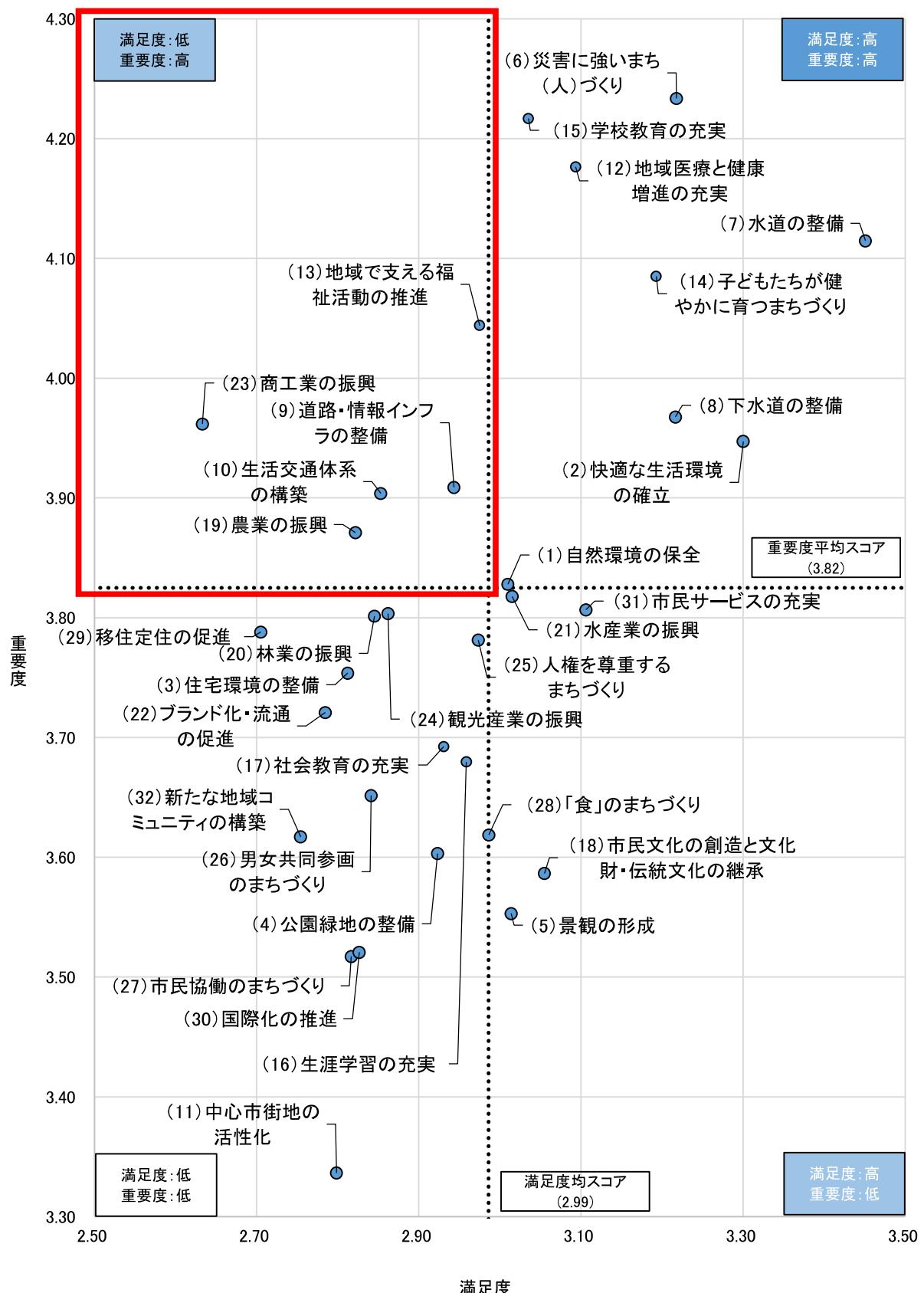
III 調査結果

【30歳～59歳】重要度・満足度の平均スコアによる相関図 (n=529)



III 調査結果

【60歳以上】重要度・満足度の平均スコアによる相関図 (n=740)



■ 地区別による評価分析（ポートフォリオ分析） ■

合併前の地区（9地区）に分け、満足度と重要度の相互の位置関係による評価分析（ポートフォリオ分析）を行いました。

地区別の満足度と重要度分析から、満足度低く重要度高い取組（優先して積極的な対応が求められる取組）を表示しています。赤文字で表示している取組は、佐伯市全体において満足度低く重要度高い取組（優先して積極的な対応が求められる取組）で挙げられている取組以外の取組です。赤文字で表示している取組については、地域が抱える課題として考えることができます。

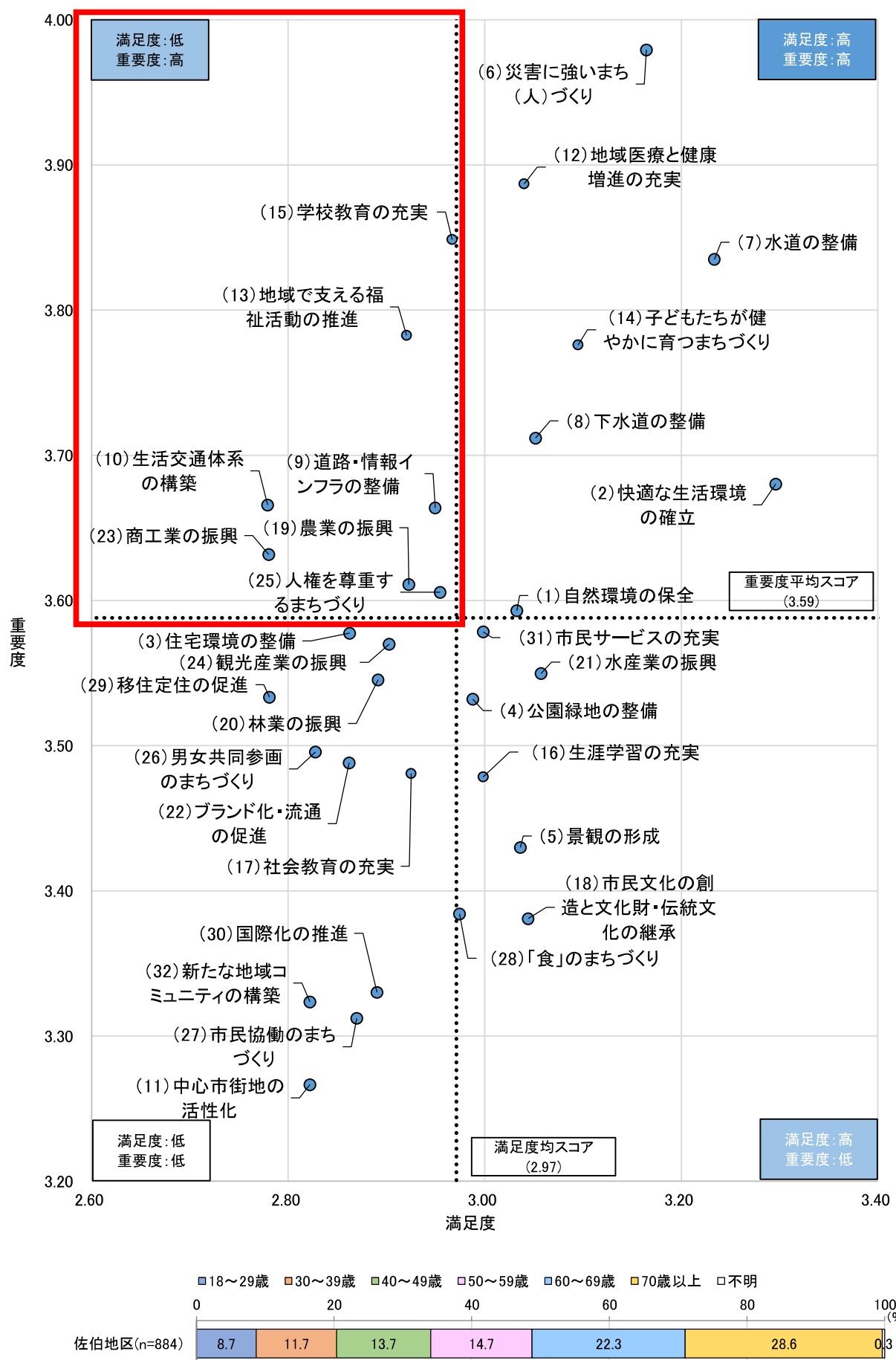
区分	満足度低く重要度高い (優先して積極的な対応が求められる取組)
佐伯地区	(9) 道路・情報インフラの整備 (10) 生活交通体系の構築 (13) 地域で支える福祉活動の推進 (15) 学校教育の充実 (19) 農業の振興 (23) 商工業の振興 (25) 人権を尊重するまちづくり
上浦地区	(3) 住宅環境の整備 (10) 生活交通体系の構築 (12) 地域医療と健康増進の充実 (13) 地域で支える福祉活動の推進 (15) 学校教育の充実 (23) 商工業の振興 (24) 観光産業の振興
弥生地区	(1) 自然環境の保全 (3) 住宅環境の整備 (9) 道路・情報インフラの整備 (13) 地域で支える福祉活動の推進 (19) 農業の振興 (23) 商工業の振興 (25) 人権を尊重するまちづくり (26) 男女共同参画のまちづくり (29) 移住定住の促進
本丘地区（※）	(3) 住宅環境の整備 (8) 下水道の整備 (9) 道路・情報インフラの整備 (10) 生活交通体系の構築 (13) 地域で支える福祉活動の推進 (19) 農業の振興
宇目地区	(9) 道路・情報インフラの整備 (13) 地域で支える福祉活動の推進 (15) 学校教育の充実 (23) 商工業の振興 (24) 観光産業の振興 (25) 人権を尊重するまちづくり (32) 新たな地域コミュニティの構築

III 調査結果

直川地区	(10) 生活交通体系の構築 (23) 商工業の振興 (24) 観光産業の振興 (26) 男女共同参画のまちづくり (28) 「食」のまちづくり (29) 移住定住の促進
鶴見地区	(4) 公園緑地の整備 (9) 道路・情報インフラの整備 (12) 地域医療と健康増進の充実 (13) 地域で支える福祉活動の推進 (15) 学校教育の充実 (21) 水産業の振興 (22) ブランド化・流通の促進 (23) 商工業の振興 (29) 移住定住の促進
米水津地区(※)	(1) 自然環境の保全 (3) 住宅環境の整備 (9) 道路・情報インフラの整備 (10) 生活交通体系の構築 (12) 地域医療と健康増進の充実 (13) 地域で支える福祉活動の推進 (23) 商工業の振興
蒲江地区	(2) 快適な生活環境の確立 (3) 住宅環境の整備 (9) 道路・情報インフラの整備 (16) 生涯学習の充実 (22) ブランド化・流通の促進 (29) 移住定住の促進

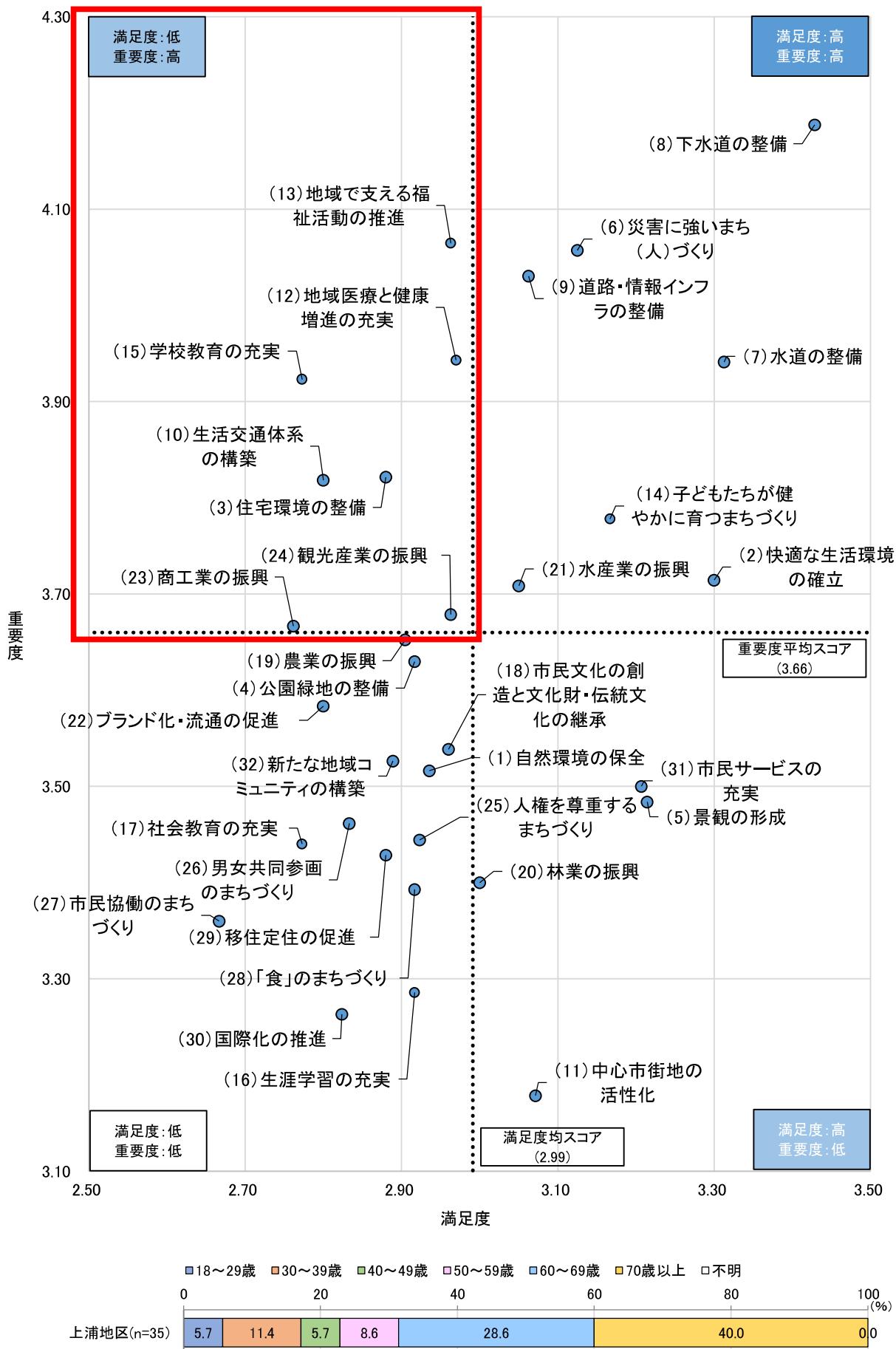
III 調査結果

【佐伯地区】重要度・満足度の平均スコアによる相関図 (n=884)



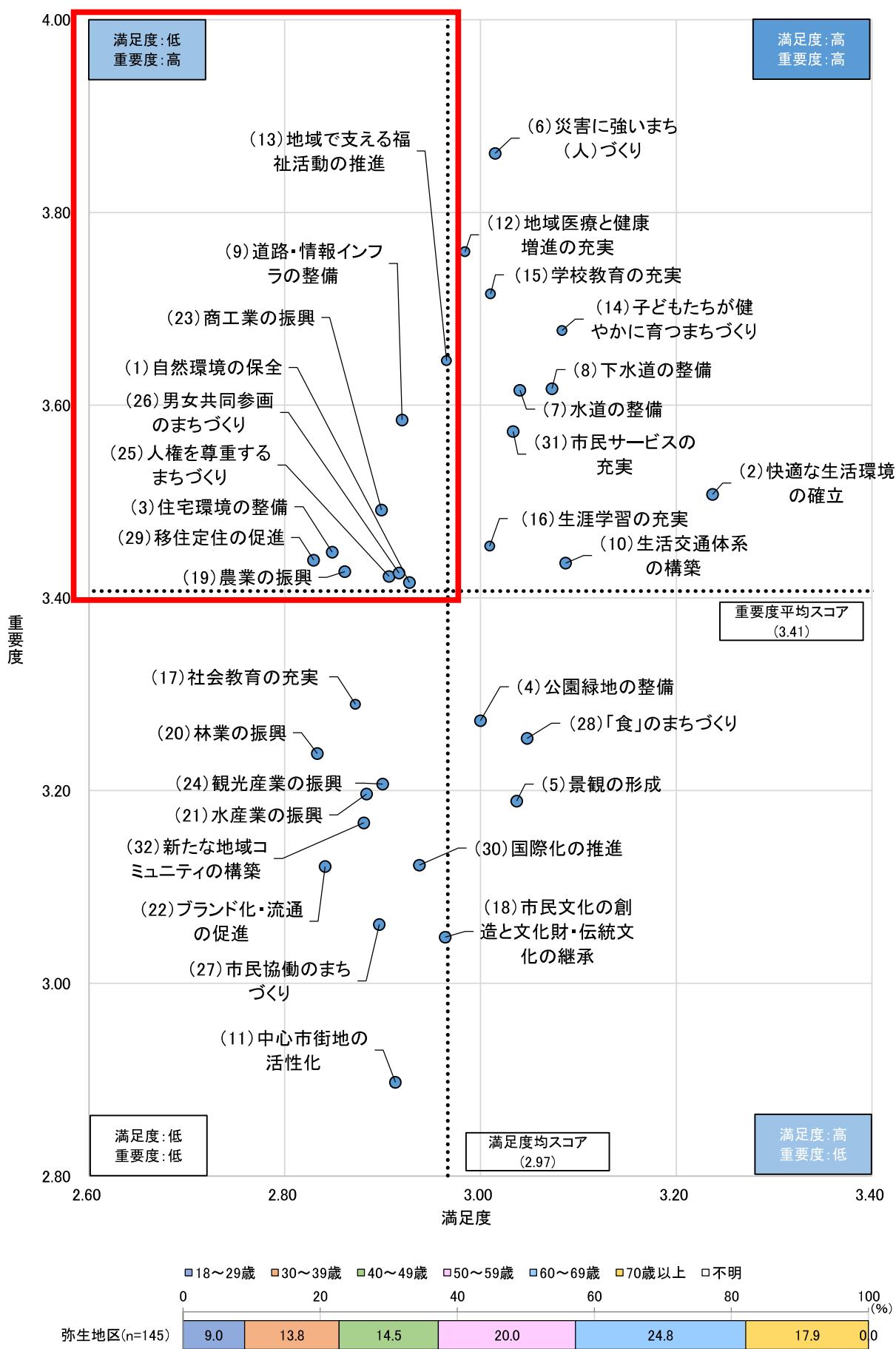
III 調査結果

【上浦地区】重要度・満足度の平均スコアによる相関図 (n=35)



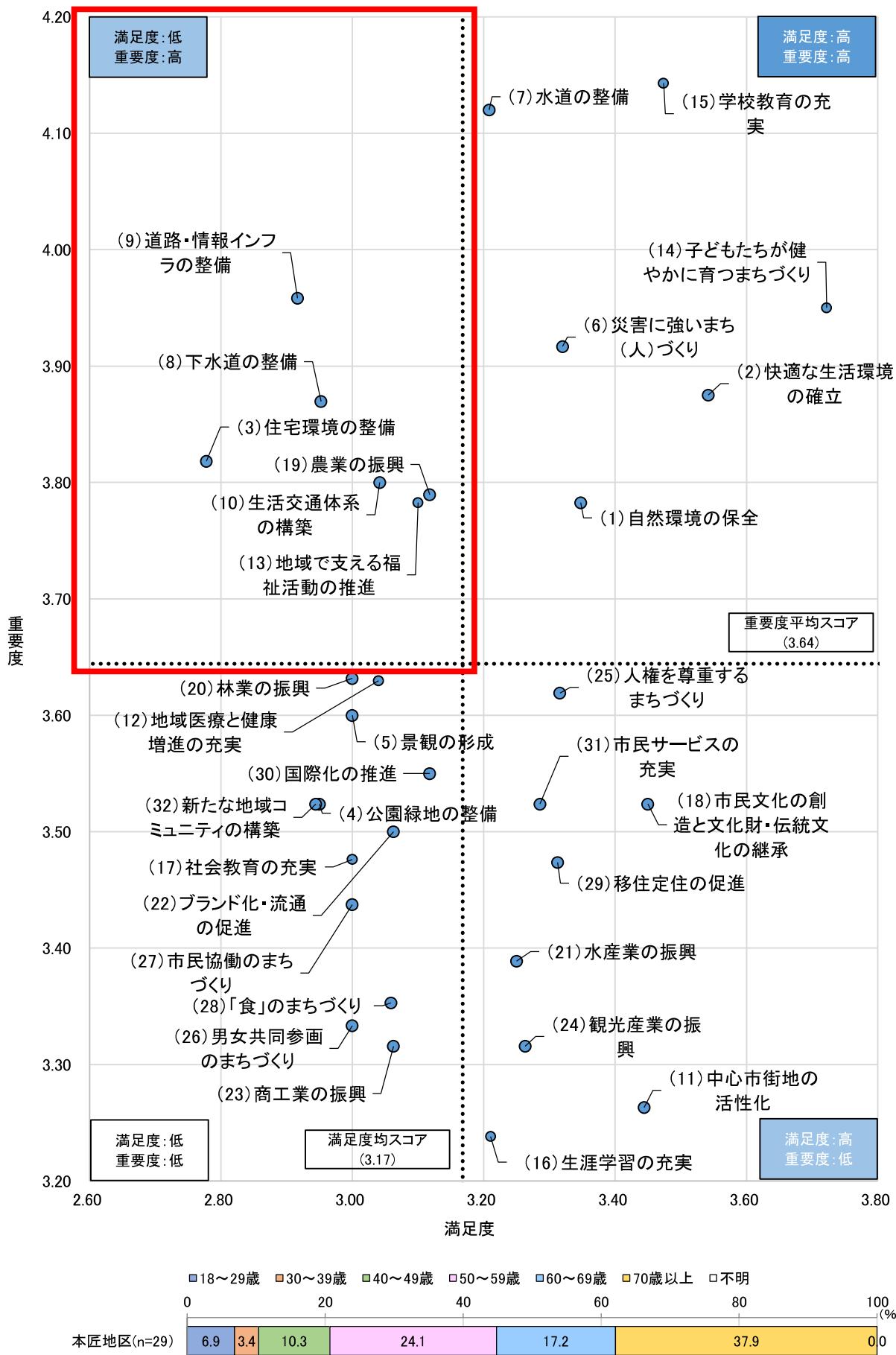
III 調査結果

【弥生地区】重要度・満足度の平均スコアによる相関図 (n=145)



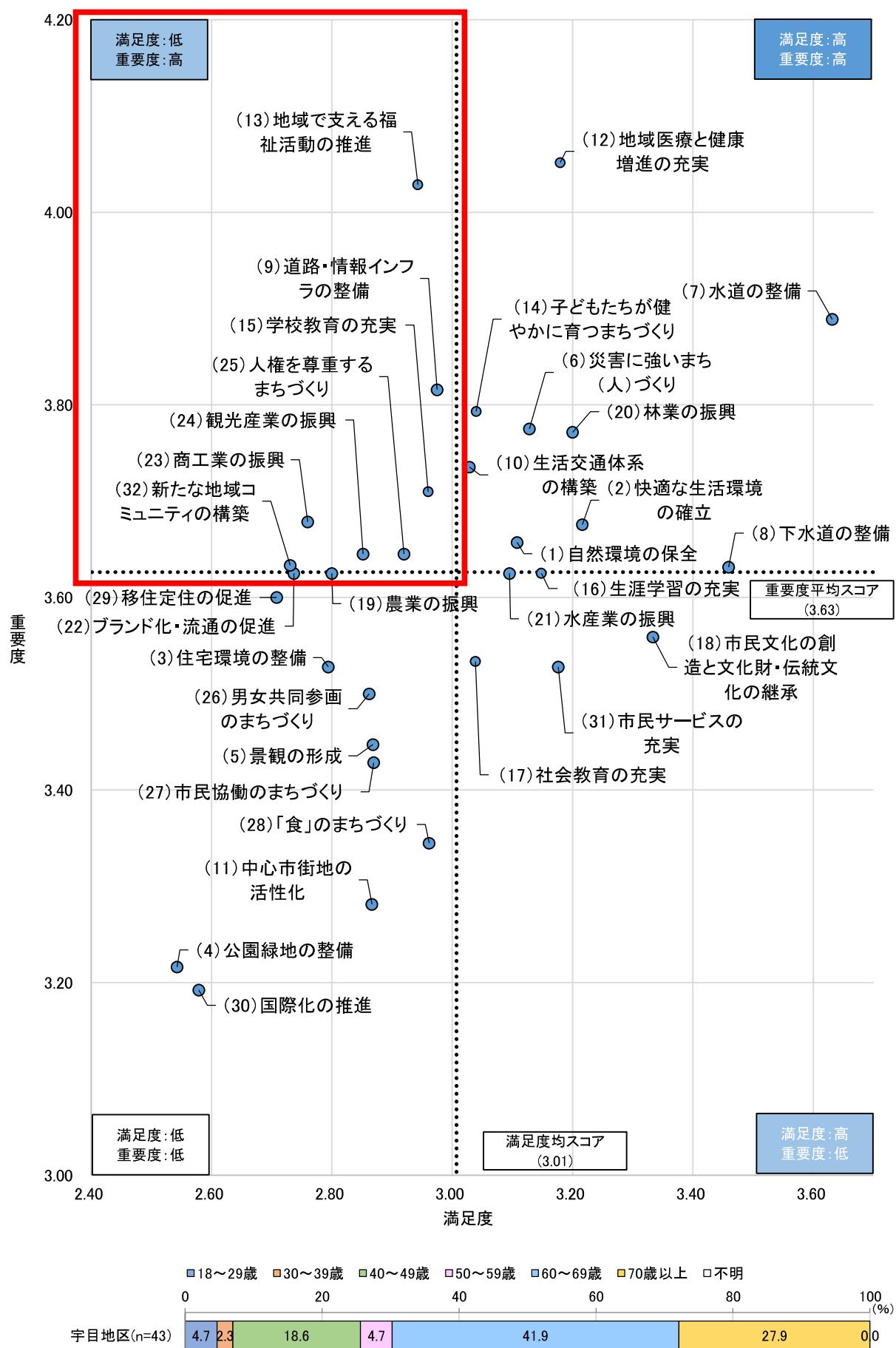
III 調査結果

【本匠地区（※）】重要度・満足度の平均スコアによる相関図 (n=29)



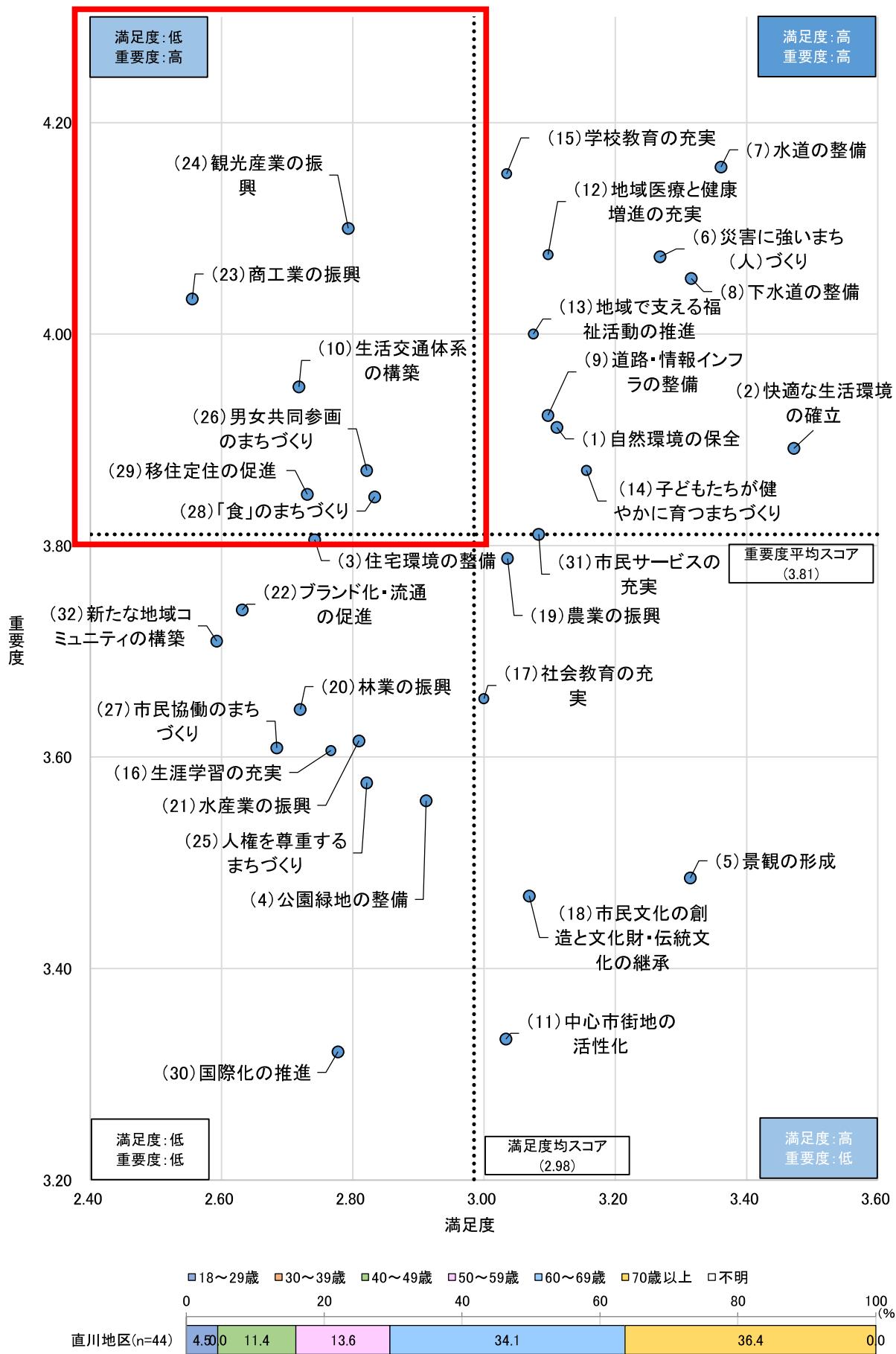
III 調査結果

【宇目地区】重要度・満足度の平均スコアによる相関図 (n=43)



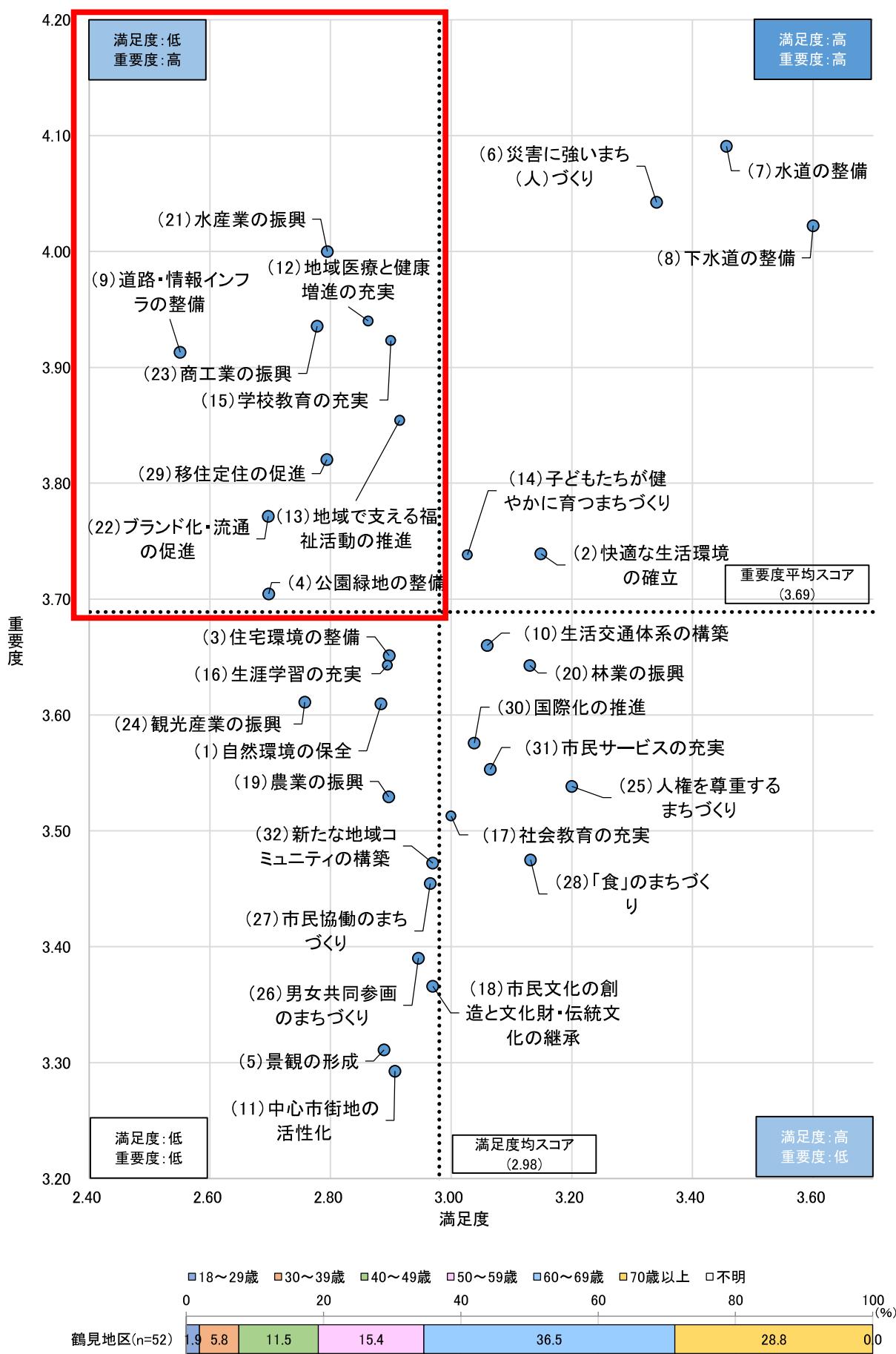
III 調査結果

【直川地区】重要度・満足度の平均スコアによる相関図 (n=44)



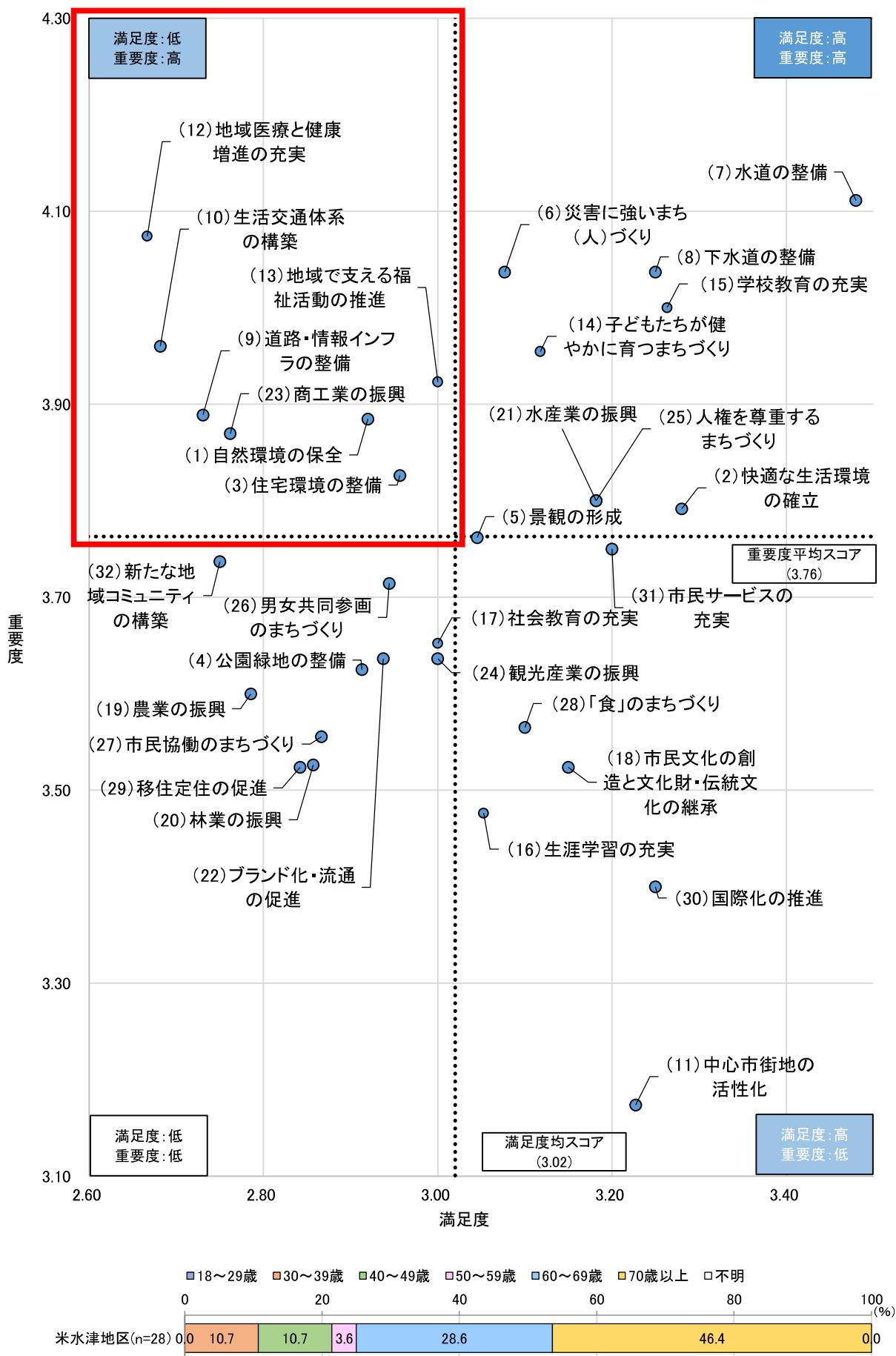
III 調査結果

【鶴見地区】重要度・満足度の平均スコアによる相関図 (n=52)



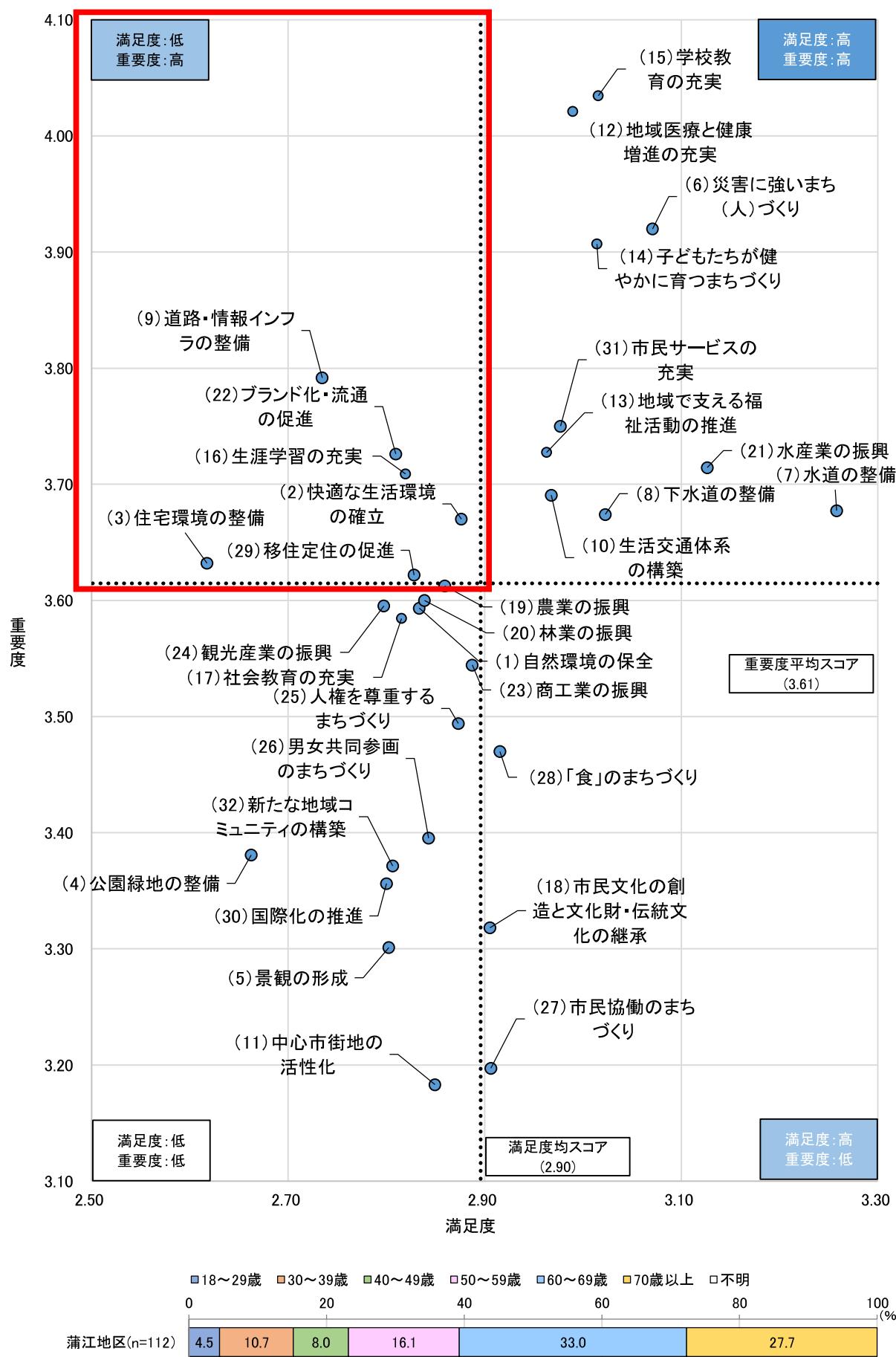
III 調査結果

【米水津地区（※）】重要度・満足度の平均スコアによる相関図（n=28）



III 調査結果

【蒲江地区】重要度・満足度の平均スコアによる相関図 (n=112)



III 調査結果

佐伯市が取り組んでいる施策の総合的な満足度について

問6 佐伯市の取組全体についてどのくらい満足しているか、総合的に考えた場合の満足度について、5段階の中から、あなたの考えに最も近いものを選んで番号に○印を付けてください。

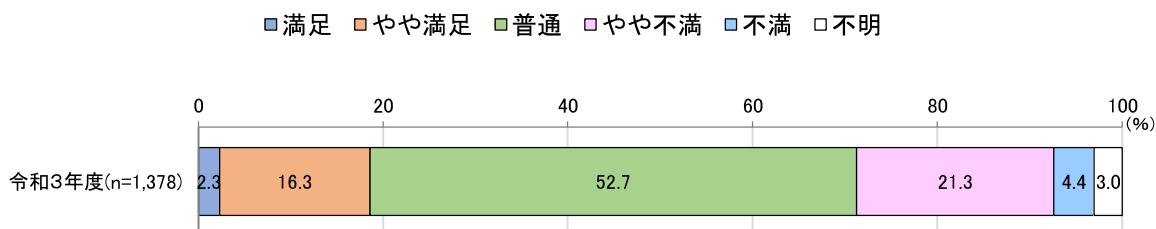
(回答は1つ) <詳細: 214P>

『満足（「満足」+「やや満足」）』が約2割、『不満（「不満」+「やや不満」）』が2割以上

全体でみると、「普通」が52.7%と最も高く、次いで「やや不満」の21.3%、「やや満足」の16.3%となっています。

性別でみると、『満足』は女性(17.6%)より男性(20.0%)の方が2.4ポイント高くなっています。

年齢別でみると、『満足』の割合は「40~49歳」が25.2%と最も高くなっています。



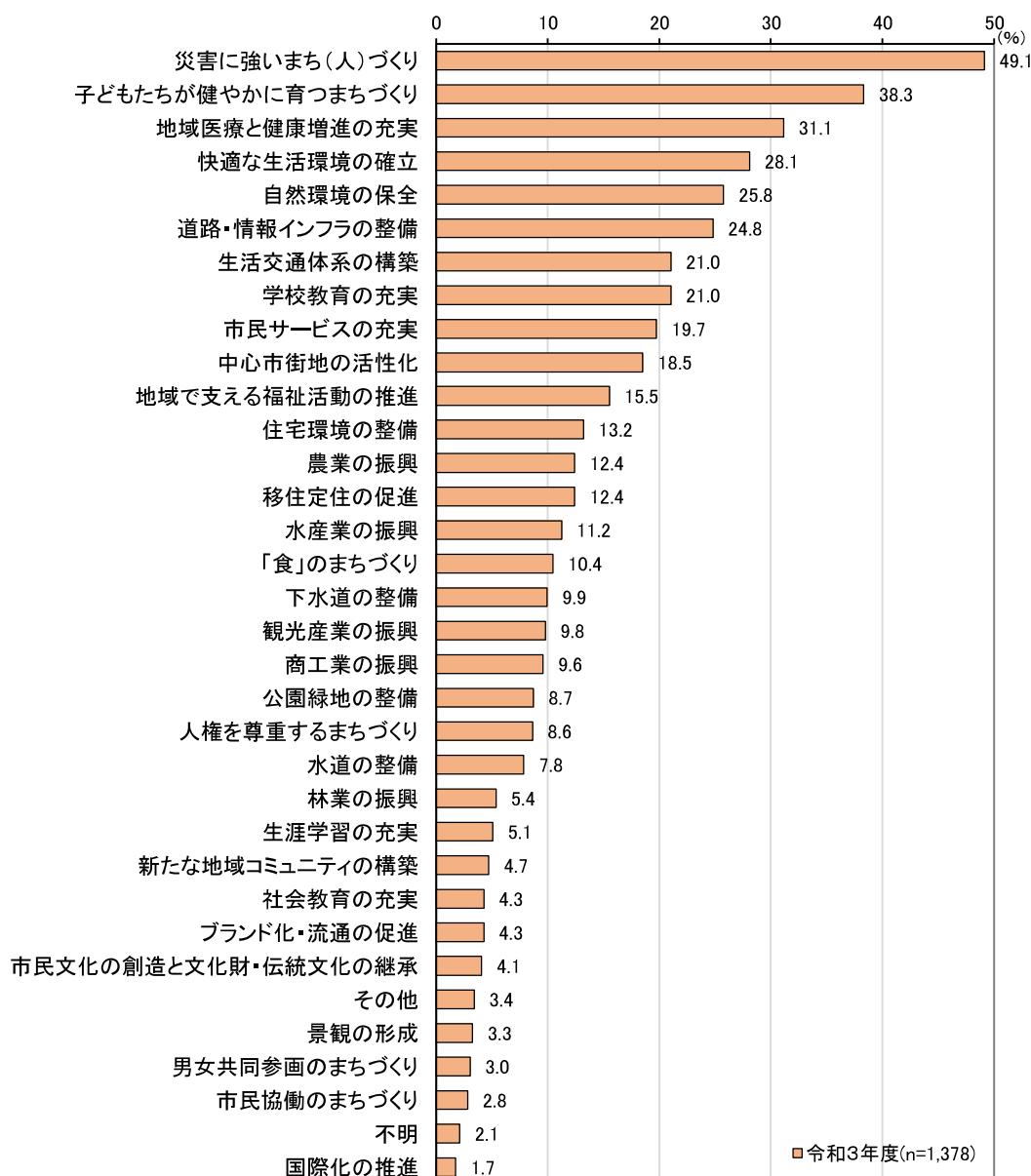
今後の佐伯市の施策について

問7 佐伯市総合計画（前期基本計画）に掲げている、次の32の施策のうち、今後、あなたが特に力を入れて取り組んでもらいたい施策は何ですか。（回答は5つまで） <詳細：216P>

「災害に強いまち（人）づくり」が49.1%と最も高い

全体でみると、「災害に強いまち（人）づくり」が49.1%と最も高く、次いで「子どもたちが健やかに育つまちづくり」の38.3%、「地域医療と健康増進の充実」の31.1%となっています。

性別でみると、男性は「道路・情報インフラの整備」が32.0%と3番目に高く、女性は「地域医療と健康増進の充実」が33.4%と3番目に高くなっています。



III 調査結果

地区別でみると、全体の上位3項目（「災害に強いまち（人）づくり」、「子どもたちが健やかに育つまちづくり」、「地域医療と健康増進の充実」）以外で特に力を入れて取り組んでもらいたい施策は、「道路・情報インフラの整備」（8地区）、「生活交通体系の構築」（6地区）、「快適な生活環境の確立」（4地区）、「自然環境の保全」（3地区）、「中心市街地の活性化」（2地区）、「学校教育の充実」（1地区）、「農業の振興」（1地区）、「水産業の振興」（1地区）となっています。

	1位	2位	3位
全体	災害に強いまち（人）づくり	子どもたちが健やかに育つまちづくり	地域医療と健康増進の充実
佐伯地区	災害に強いまち（人）づくり	子どもたちが健やかに育つまちづくり	快適な生活環境の確立 中心市街地の活性化
渡町台地区	災害に強いまち（人）づくり	子どもたちが健やかに育つまちづくり	地域医療と健康増進の充実
佐伯東地区	災害に強いまち（人）づくり	子どもたちが健やかに育つまちづくり	中心市街地の活性化
上堅田地区	災害に強いまち（人）づくり	快適な生活環境の確立	子どもたちが健やかに育つまちづくり
鶴岡地区	災害に強いまち（人）づくり	子どもたちが健やかに育つまちづくり	快適な生活環境の確立
大入島地区（※）	生活交通体系の構築	地域医療と健康増進の充実	災害に強いまち（人）づくり
八幡地区	災害に強いまち（人）づくり	道路・情報インフラの整備	子どもたちが健やかに育つまちづくり
西上浦地区（※）	災害に強いまち（人）づくり	子どもたちが健やかに育つまちづくり	道路・情報インフラの整備 生活交通体系の構築 地域で支える福祉活動の推進
下堅田地区	災害に強いまち（人）づくり	道路・情報インフラの整備 地域医療と健康増進の充実 子どもたちが健やかに育つまちづくり	自然環境の保全
青山地区（※）	災害に強いまち（人）づくり	地域医療と健康増進の充実 農業の振興	※7項目が同率のため、省略
木立地区	災害に強いまち（人）づくり 子どもたちが健やかに育つまちづくり	生活交通体系の構築 地域医療と健康増進の充実	学校教育の充実
上浦地区	生活交通体系の構築	災害に強いまち（人）づくり	地域医療と健康増進の充実
弥生地区	災害に強いまち（人）づくり	子どもたちが健やかに育つまちづくり	地域医療と健康増進の充実
本匠地区（※）	災害に強いまち（人）づくり	子どもたちが健やかに育つまちづくり	道路・情報インフラの整備 地域医療と健康増進の充実
宇目地区	自然環境の保全	災害に強いまち（人）づくり 生活交通体系の構築 地域医療と健康増進の充実	子どもたちが健やかに育つまちづくり
直川地区	災害に強いまち（人）づくり	道路・情報インフラの整備	自然環境の保全 快適な生活環境の確立
鶴見地区	災害に強いまち（人）づくり 道路・情報インフラの整備	子どもたちが健やかに育つまちづくり 水産業の振興	地域医療と健康増進の充実
米水津地区（※）	地域医療と健康増進の充実	災害に強いまち（人）づくり 生活交通体系の構築	道路・情報インフラの整備
蒲江地区	災害に強いまち（人）づくり	子どもたちが健やかに育つまちづくり	道路・情報インフラの整備

佐伯市のまちづくりについて

問8 佐伯市のまちづくりにおいて、あなたがもっとも重要だと思うことは何ですか。

(回答は1つ) <詳細: 225P>

「若い人が住む、活力のあるまち」が31.7%と最も高い

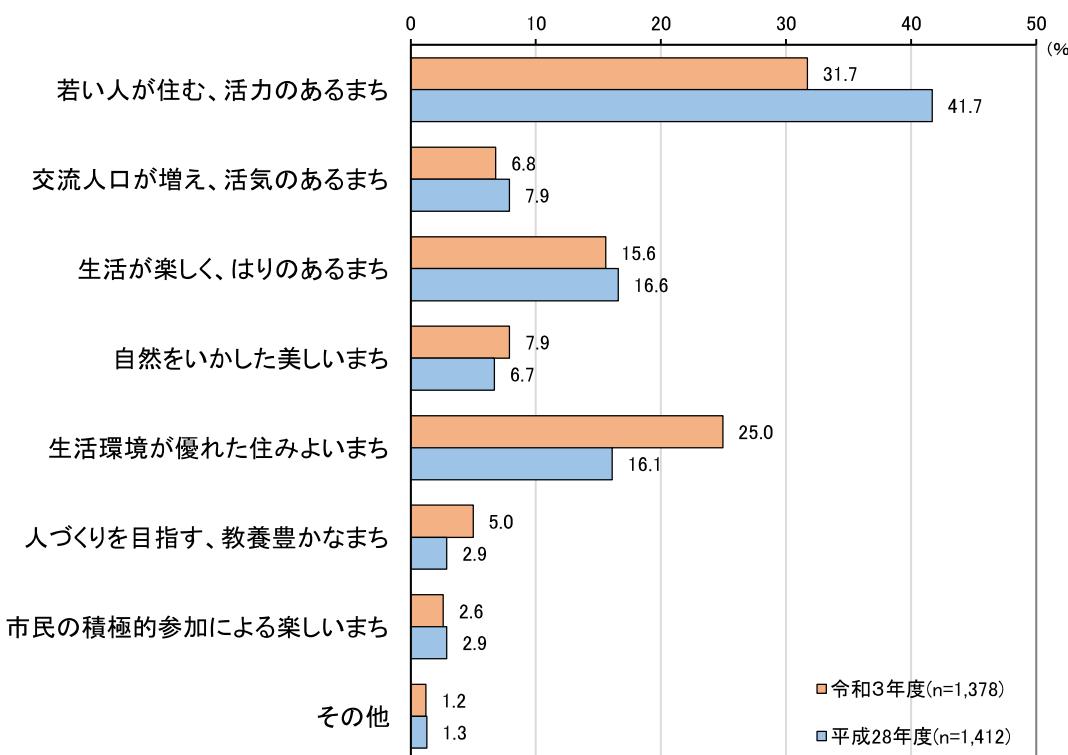
全体でみると、「若い人が住む、活力のあるまち」が31.7%と最も高く、次いで「生活環境が優れたすみ住いまち」の25.0%、「生活が楽しく、はりのあるまち」の15.6%となっています。

性別でみると、「若い人が住む、活力のあるまち」は女性より男性の方が5.6ポイント高くなっています。

年齢別でみると、18~39歳は「生活環境が優れた住みよいまち」の割合が最も高く、40歳以上は「若い人が住む、活力のあるまち」の割合が最も高くなっています。

【前回調査との比較】

「若い人が住む、活力のあるまち」は10.0ポイント低く、「生活環境が優れた住みよいまち」は8.9ポイント高くなっています。



III 調査結果

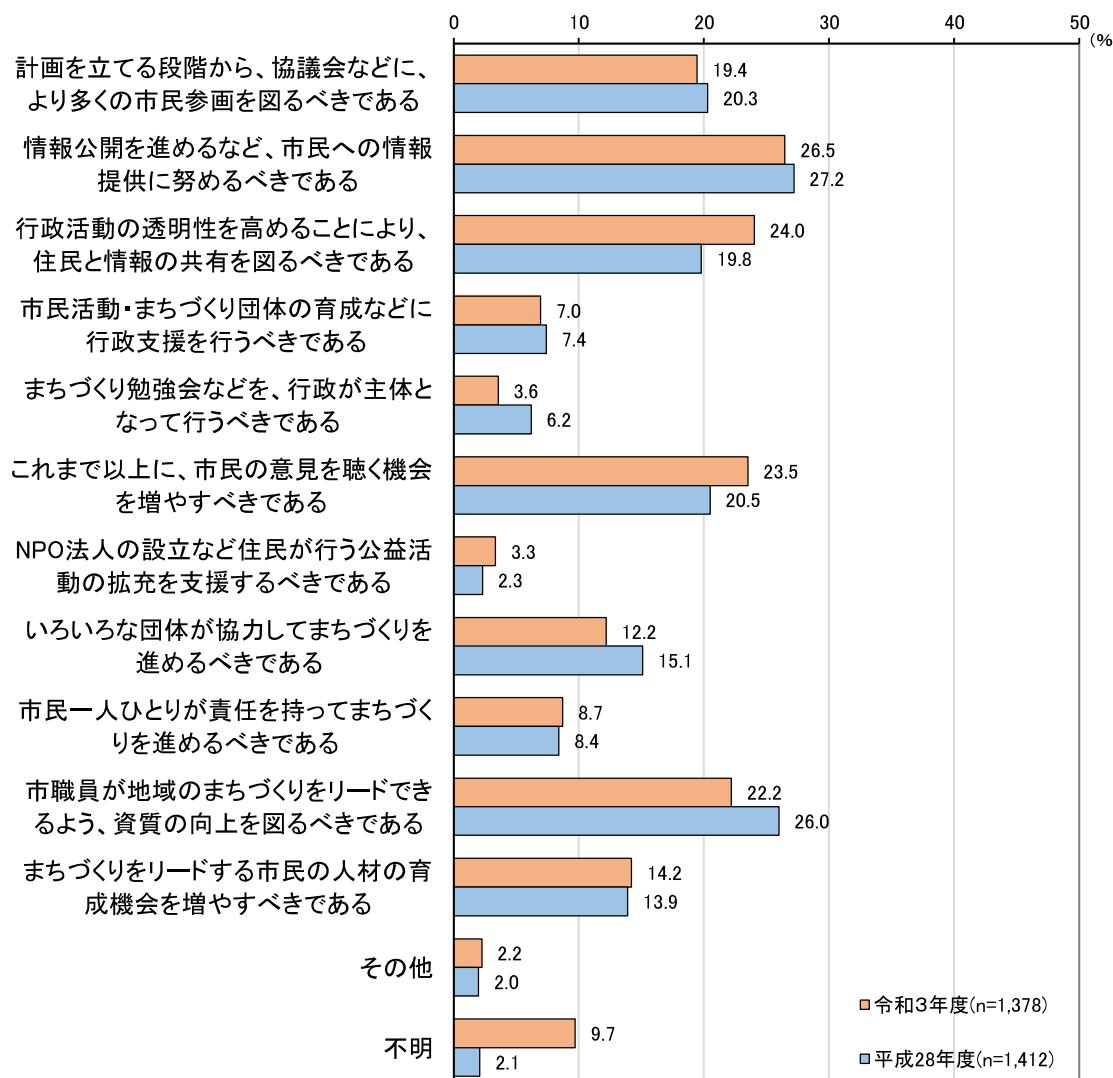
問9 あなたは、今後の佐伯市のまちづくりを「市民」と「行政」が協力して進めるためには、どのようなことをすべきだと思いますか。(回答は2つまで) <詳細: 228P>

「情報公開を進めるなど、市民への情報提供に努めるべきである」が26.5%と最も高い
「行政活動の透明性を高めることにより、住民と情報の共有を図るべきである」と「これまで以上に、市民の意見を聴く機会を増やすべきである」は、前回調査よりも高い。

全体でみると、「情報公開を進めるなど、市民への情報提供に努めるべきである」が26.5%と最も高く、次いで「行政活動の透明性を高めることにより、住民と情報の共有を図るべきである」の24.0%、「これまで以上に、市民の意見を聴く機会を増やすべきである」の23.5%となっています。

【前回調査との比較】

「行政活動の透明性を高めることにより、住民と情報の共有を図るべきである」は42ポイント高く、「これまで以上に、市民の意見を聴く機会を増やすべきである」は30ポイント高く、「市職員が地域のまちづくりをリードできるよう、資質の向上を図るべきである」は38ポイント低くなっています。



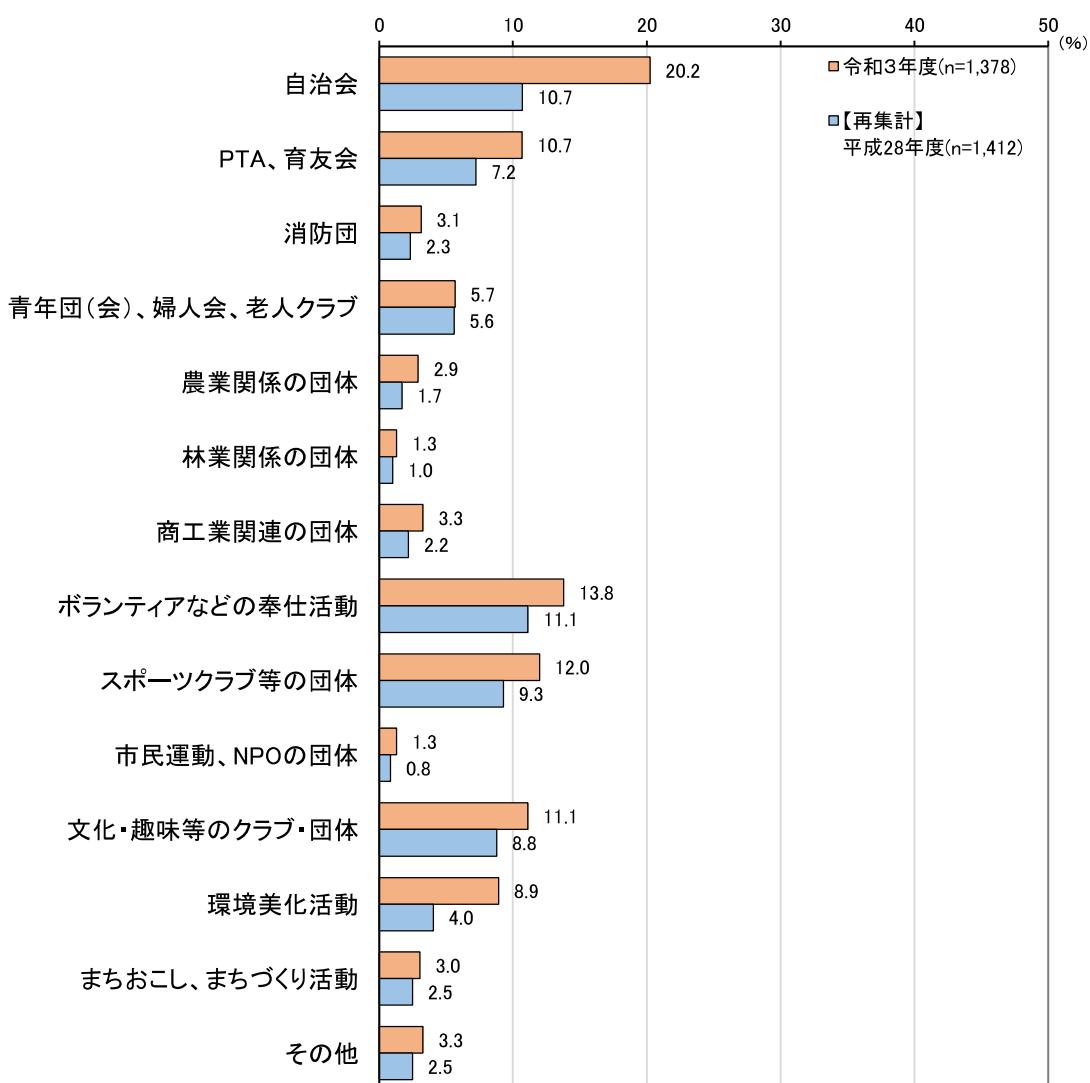
問10 あなたが現在、参加している社会活動について、当てはまるものをすべて選んでください。(回答はいくつでも) <詳細: 231P>

全ての項目で前回調査を上回っており、特に「自治会」の伸び率が高くなっています。

全体でみると、不明を除くと「自治会」が20.2%と最も高く、次いで「ボランティアなどの奉仕活動」の13.8%、「スポーツクラブ等の団体」の12.0%となっています。

【前回調査との比較】

全ての項目で前回調査より高くなっています。「自治会」は9.5ポイント高くなっています。



※平成28年度は設問設定が異なるため、再集計した割合

III 調査結果

問11 あなたが、これから参加したい（これからも続けていきたい）社会活動をすべて選んでください。（回答はいくつでも） <詳細：234P>

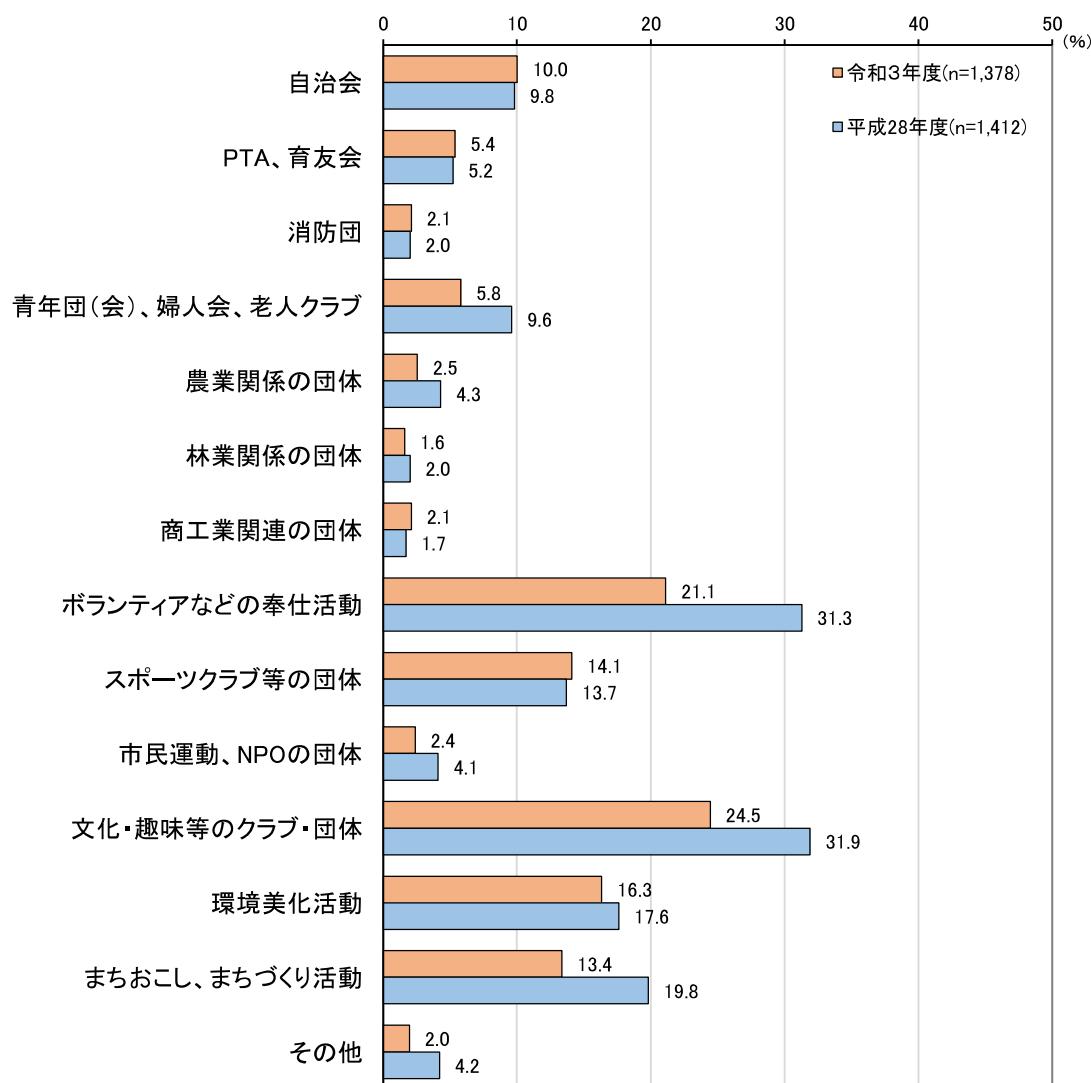
「文化・趣味等のクラブ・団体」が24.5%と最も高い

「ボランティアなどの奉仕活動」、「文化・趣味等のクラブ・団体」、「まちおこし、まちづくり活動」は前回調査より5.0ポイント以上低い

全体でみると、不明を除くと「文化・趣味等のクラブ・団体」が24.5%と最も高く、次いで「ボランティアなどの奉仕活動」の21.1%、「環境美化活動」の16.3%となっています。

【前回調査との比較】

「ボランティアなどの奉仕活動」は10.2ポイント、「文化・趣味等のクラブ・団体」は7.4ポイント、「まちおこし、まちづくり活動」は6.4ポイント低くなっています。



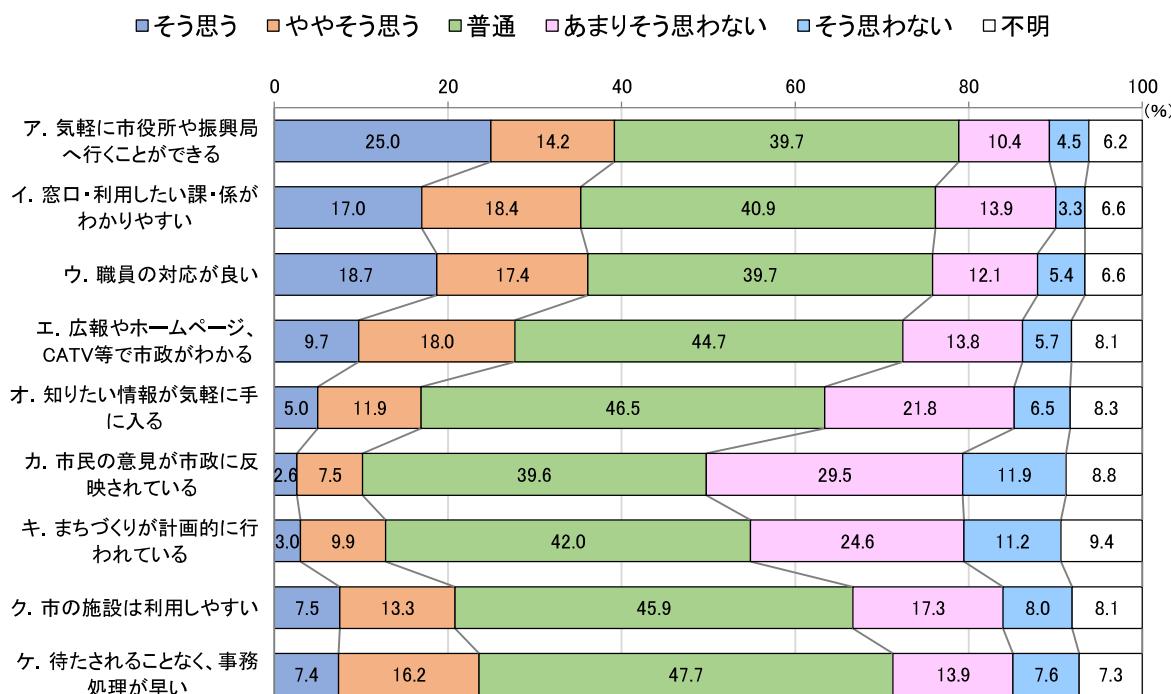
市役所(市民サービス)について

問12 市役所に対するあなたの意見を聞かせてください。次の各項目の評価を選んで番号に○印をつけてください。(回答は1つずつ)

『そう思う』は、「ア. 気軽に市役所や振興局へ行くことができる」が39.2%と最も高い
 『窓口業務（「ア.」「イ.」「ウ.」）』については、高評価
 『そう思わない』は、「カ. 市民の意見が市政に反映されている」が41.4%と最も高い
 『情報発信・情報共有（「オ.」「カ.」「キ.」）』については、低評価

『そう思う（「そう思う」+「ややそう思う」）』は「ア. 気軽に市役所や振興局へ行くことができる」が39.2%と最も高く、次いで「ウ. 職員の対応が良い」の36.1%、「イ. 窓口・利用したい課・係がわかりやすい」の35.4%となっています。

『そう思わない（「あまりそう思わない」+「そう思わない」）』は「カ. 市民の意見が市政に反映されている」が41.4%と最も高く、次いで「キ. まちづくりが計画的に行われている」の35.8%、「オ. 知りたい情報が気軽に手に入る」の28.3%となっています。



III 調査結果

問12 ア. 気軽に市役所や振興局へ行くことができる（回答は1つ） <詳細：237P>

『そう思う』は約4割

『そう思う』は前回調査より減少、「普通」は増加

全体でみると、「普通」が39.7%と最も高く、次いで「そう思う」の25.0%、「ややそう思う」の14.2%となっています。

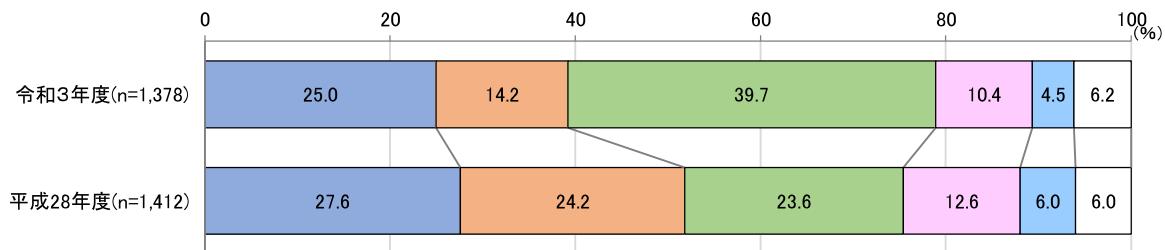
性別でみると、『そう思う』は女性（37.3%）より男性（41.8%）の方が4.5ポイント高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢で「普通」の割合が最も高くなっています。

【前回調査との比較】

『そう思う』は12.6ポイント、「普通」は16.1ポイント高くなっています。

■そう思う ■ややそう思う ■普通 ■あまりそう思わない ■そう思わない ■不明



問12 イ. 窓口・利用したい課・係がわかりやすい（回答は1つ） <詳細：239P>

『そう思う』は3割以上

『そう思う』は前回調査より減少、「普通」は増加

全体でみると、「普通」が40.9%と最も高く、次いで「ややそう思う」の18.4%、「そう思う」の17.0%となっています。

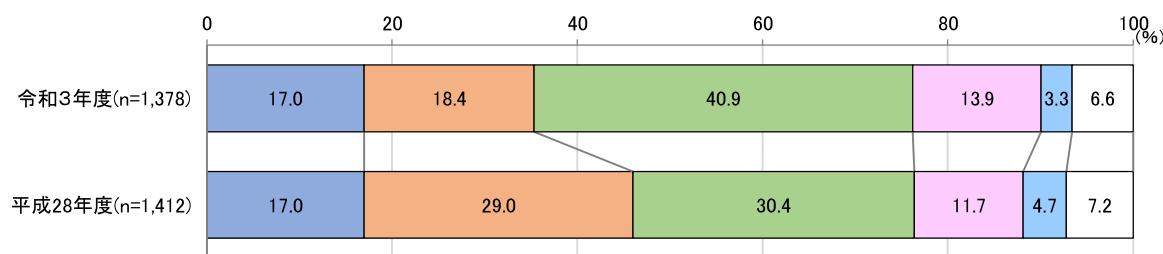
性別でみると、『そう思う』は男性（34.8%）より女性（35.9%）の方が1.1ポイント高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢で「普通」の割合が最も高くなっています。

【前回調査との比較】

『そう思う』は10.6ポイント低く、「普通」は10.5ポイント高くなっています。

■そう思う ■ややそう思う ■普通 ■あまりそう思わない ■そう思わない □不明



III 調査結果

問12 ウ. 職員の対応が良い（回答は1つ） <詳細：241P>

『そう思う』は3割以上

『そう思う』は前回調査より減少、「普通」は増加

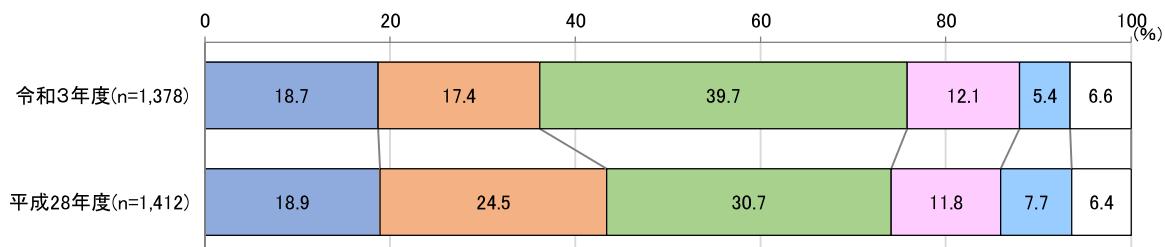
全体でみると、「普通」が39.7%と最も高く、次いで「そう思う」の18.7%、「ややそう思う」の17.4%となっています。

性別でみると、『そう思う』は男性(35.9%)より女性(36.4%)の方が0.5ポイント高くなっています。

【前回調査との比較】

『そう思う』は7.3ポイント低く、「普通」は9.0ポイント高くなっています。

■そう思う ■ややそう思う ■普通 ■あまりそう思わない ■そう思わない ■不明



問12 工. 広報やホームページ、CATV 等で市政がわかる（回答は1つ）<詳細：243P>

『そう思う』は約3割

『そう思う』は前回調査より減少、「普通」は増加

全体でみると、「普通」が44.7%と最も高く、次いで「ややそう思う」の18.0%、「あまりそう思わない」の13.8%となっています。

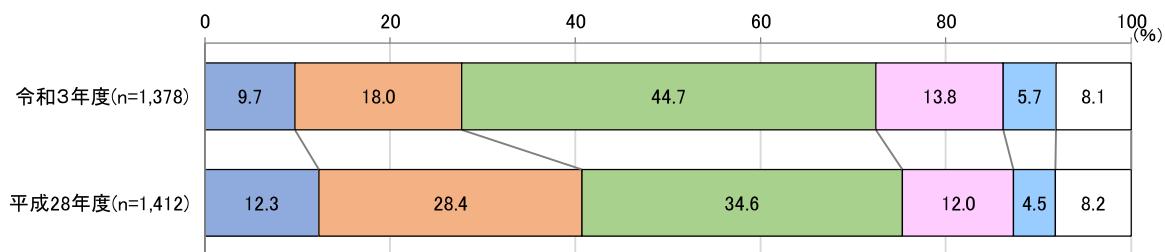
性別でみると、『そう思う』は男性(25.6%)より女性(29.5%)の方が3.9ポイント高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢で「普通」の割合が最も高くなっています。

【前回調査との比較】

『そう思う』は13.0ポイント低く、「普通」は10.1ポイント高くなっています。

■そう思う ■ややそう思う ■普通 ■あまりそう思わない ■そう思わない □不明



III 調査結果

問12 才 知りたい情報が気軽に手に入る（回答は1つ） <詳細：245P>

『そう思わない』は約3割

『そう思う』は前回調査より減少、「そう思わない」は増加

全体でみると、「普通」が46.5%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」の21.8%、「ややそう思う」の11.9%となっています。

性別でみると、『そう思わない』は女性（26.2%）より男性（31.2%）の方が5.0ポイント高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢で「普通」の割合が最も高くなっています。

【前回調査との比較】

『そう思う』は5.6ポイント低く、『そう思わない』は3.6ポイント高くなっています。

■ そう思う ■ ややそう思う ■ 普通 ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 不明



問12 力. 市民の意見が市政に反映されている（回答は1つ） <詳細：247P>

『そう思わない』は約4割

『そう思わない』は前回調査より増加

全体でみると、「普通」が39.6%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」の29.5%、「そう思わない」の11.9%となっています。

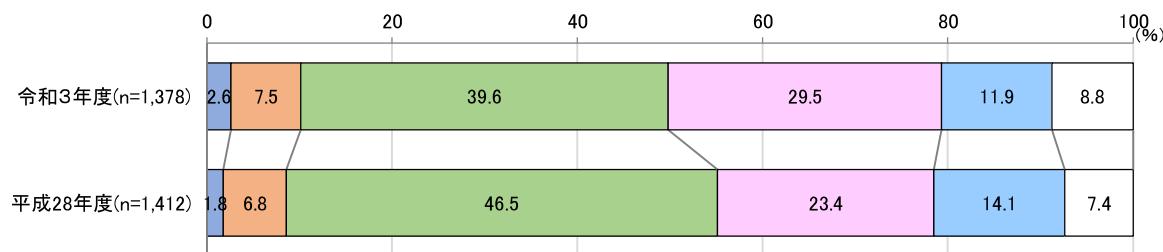
性別でみると、『そう思わない』は女性（39.7%）より男性（43.3%）の方が3.6ポイント高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢で「普通」の割合が最も高くなっています。

【前回調査との比較】

「普通」は6.9ポイント低く、『そう思わない』は3.9ポイント高くなっています。

■そう思う ■ややそう思う ■普通 ■あまりそう思わない ■そう思わない □不明



III 調査結果

問12 キ. まちづくりが計画的に行われている（回答は1つ） <詳細：249P>

『そう思わない』は3割以上、前回評価と大きな差異なし

全体でみると、「普通」が42.0%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」の24.6%、「そう思わない」の11.2%となっています。

性別でみると、『そう思わない』は女性(32.6%)より男性(39.7%)の方が7.1ポイント高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢で「普通」の割合が最も高くなっています。

【前回調査との比較】

前回評価と大きな差異はありません。

■そう思う ■ややそう思う ■普通 ■あまりそう思わない ■そう思わない ■不明



問12 ク. 市の施設は利用しやすい（回答は1つ） <詳細：251P>

『そう思う』は約2割、『そう思わない』は2割以上
 『そう思う』は前回調査より減少、『そう思わない』は増加

全体でみると、「普通」が45.9%と最も高く、次いで「あまりそう思わない」の17.3%、「ややそう思う」の13.3%となっています。

性別でみると、『そう思わない』は女性(25.0%)より男性(25.3%)の方が0.3ポイント高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢で「普通」の割合が最も高くなっています。

【前回調査との比較】

『そう思う』は5.7ポイント低く、『そう思わない』は2.8ポイント高くなっています。

■そう思う ■ややそう思う ■普通 ■あまりそう思わない ■そう思わない □不明



III 調査結果

問12 ケ. 待たされることなく、事務処理が速い（回答は1つ） <詳細：253P>

『そう思う』は2割以上、『そう思わない』は約2割

『そう思う』は前回調査より減少、「普通」は増加

全体でみると、「普通」が47.7%と最も高く、次いで「ややそう思う」の16.2%、「あまりそう思わない」の13.9%となっています。

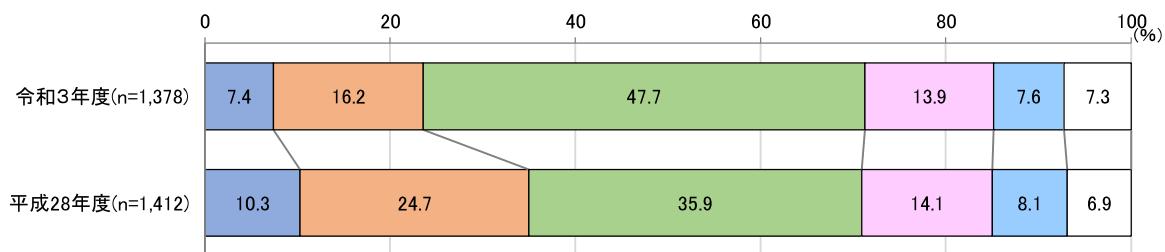
性別でみると、『そう思う』は男性(22.9%)より女性(24.2%)の方が13ポイント高くなっています。

年齢別でみると、全ての年齢で「普通」の割合が最も高くなっています。

【前回調査との比較】

『そう思う』は11.4ポイント低く、「普通」は11.8ポイント高くなっています。

■そう思う ■ややそう思う ■普通 ■あまりそう思わない ■そう思わない □不明



第2次佐伯市総合計画策定のための市民アンケート調査

調査協力のお願い

市民の皆様には、日頃から市政へのご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

現在、佐伯市では、「第2次佐伯市総合計画（前期基本計画）」の計画期間終了を控え、これに続く「後期基本計画（計画期間：令和5年度～令和9年度）」の策定に向けて取り組んでいます。総合計画とは、これからの中のあるべき姿を描き、市民と行政が一体となり、総合的かつ計画的な市政運営を進めていくための基本方針です。

総合計画の策定に当たりましては、市民の方々のご意見を広く承り、計画の参考とするため、この調査票を市内にお住まいの18歳以上の方から、無作為に抽出した3,500人の方に、調査票を送付させていただきました。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年9月

佐伯市長 田中 利明

ご記入にあたってのお願い

- 1 できるだけ宛名のご本人が、ご回答くださいますようお願いします。
(ご本人のご回答が困難な場合には、ご家族の方がお答えいただいても結構です。)
- 2 調査は無記名ですので、個人情報が漏れたりすることはありません。また、この調査票や返信用封筒には、お名前やご住所を記入していただく必要はありません。
- 3 回答の結果は、調査目的以外に利用することはできません。
- 4 回答方法は、この調査票、またはインターネットの2種類あります。
- 5 調査票をご利用の場合は、同封の返信用封筒に、ご回答いただいたこの調査票を入れ、切手を貼らずにご投函くださいますようお願いします。
- 6 インターネットをご利用の場合は、下記のURLをご参照いただくか、QRコードを読み取ってアクセスし、ご回答をお願いします。

【回答用 URL】

<https://logoform.jp/form/d9LC/12264>



- 7 回答期限は、調査票・インターネットいずれも10月22日（金曜日）までとなっております。

【この調査に関するお問い合わせ先】

佐伯市 総合政策部政策企画課 政策企画係 TEL : 0972-22-4104 (直通)
E-mail : sseisaku@city.saiki.lg.jp

V 参考資料

■ あなた自身のことについて

はじめに、あなたご自身のことを（記入日現在の状況で）教えてください。
それぞれ当てはまる番号を一つ選んで○印をつけてください。

ア あなたの性別を教えてください。（ご自身が自認する性別を選んでください）

- | | | |
|-------|-------|--------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他（自由記載） |
|-------|-------|--------------|

イ あなたの年齢を教えてください。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18歳～29歳 | 2. 30歳～39歳 | 3. 40歳～49歳 |
| 4. 50歳～59歳 | 5. 60歳～69歳 | 6. 70歳以上 |

ウ あなたのお宅の家族構成を教えてください。

- | | | |
|-----------------------|-----------|-------------------------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ | 3. 二世代世帯（親と子ども、親と子ども夫婦） |
| 4. 三世代世帯（親と子どもと子どもの子） | 5. その他（ ） | |

エ あなたの職業を教えてください。

※兼業の方は、最も収入の多いものを一つだけお選びください。

- | | | |
|---------------|------------|-------------|
| 1. 農林漁業（自営） | 2. 鉱業・建設業 | 3. 製造業 |
| 4. 金融、保険、不動産業 | 5. 卸売・小売業 | 6. 運輸、通信業 |
| 7. 電気・ガス・水道業 | 8. サービス業 | 9. 医療、福祉、介護 |
| 10. 公務員 | 11. その他（ ） | |

オ あなたのお住まいの地区を教えてください。

- | | | | |
|----------|----------|-----------|----------|
| 1. 佐伯地区 | 2. 渡町台地区 | 3. 佐伯東地区 | 4. 上堅田地区 |
| 5. 鶴岡地区 | 6. 大入島地区 | 7. 八幡地区 | 8. 西上浦地区 |
| 9. 下堅田地区 | 10. 青山地区 | 11. 木立地区 | |
| 12. 上浦地区 | 13. 弥生地区 | 14. 本匠地区 | 15. 宇目地区 |
| 16. 直川地区 | 17. 鶴見地区 | 18. 米水津地区 | 19. 蒲江地区 |

カ あなたが佐伯市にお住まいの年数を教えてください。

※旧南海部郡の方は、旧南海部郡からの通算で御回答ください。

- | | | |
|--------------|------------|-------------|
| 1. 2年未満 | 2. 2年～5年未満 | 3. 5年～10年未満 |
| 4. 10年～20年未満 | 5. 20年以上 | |

■ あなたの日常生活、住みやすさについて

問1 佐伯市に愛着を感じますか。(1つだけ選んでください)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 非常に愛着を感じる | 2. 少し愛着を感じる |
| 3. あまり愛着を感じない | 4. まったく愛着を感じない |

問2 佐伯市は住みよいところだと思いますが。(1つだけ選んでください)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1. 住みよい | 2. どちらかと言えば住みよい |
| 3. どちらかと言えば住みにくい | 4. 住みにくい |

問3 問2で「1. 住みよい」「2. どちらかと言えば住みよい」とお答えの方にお聞きします。そう思われる理由は何ですか。(2つまで選んでください)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 人柄、人情がよい | 2. 親戚や友人が多い |
| 3. 日常の買物が便利である | 4. 物価が安い |
| 5. 通勤・通学に便利である | 6. 文化施設や公園などが充実している |
| 7. 教育環境が充実している | 8. 医療施設が充実している |
| 9. 地域活動等が盛んである | 10. 歴史や伝統文化が残されている。 |
| 11. 緑が多く、自然環境に恵まれている | |
| 12. その他 () | |

問4 問2で「3. どちらかと言えば住みにくい」「4. 住みにくい」と答えた方にお聞きします。そう思われる理由は何ですか。(2つまで選んでください)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. 人柄、人情がよくない | 2. 人間関係が煩わしい |
| 3. 日常の買物が不便である | 4. 物価が高い |
| 5. 通勤・通学が不便である | 6. 文化施設や公園などが充実していない |
| 7. 教育環境が充実していない | 8. 医療施設が充実していない |
| 9. 親戚や友人が少ない | 10. 地域の行事や催しが少ない |
| 11. 田舎で寂しい | |
| 12. その他 () | |

V 参考資料

■ 佐伯市が取り組んでいる施策の満足度と重要度について
佐伯市では、「第2次佐伯市総合計画」を策定し、各種施策に取り組んでいます。
【総合計画とは】
佐伯市のあるべき姿を描き、市民と行政が一体となり総合的かつ計画的な市政運営を進めていくための基本方針となるものです。
【総合計画の構成】 総合計画は、「基本構想」「基本計画」によって構成されます。
・基本構想 … まちづくりの最も基本的な指針として、「さいき創生」進めるための基本的な政策（さいき7つの創生）を定めるものです。
・基本計画 … 基本構想を実現するための具体的な施策を定めるものです。
※参考：第2次佐伯市総合計画（佐伯市公式ホームページ） https://www.city.saiki.oita.jp/kiji00320/3_20_1_1-dai2ji-keikaku.pdf

問5 次の設問（1）～（32）は、佐伯市総合計画（前期基本計画）に掲げて取り組んでいる32の施策です。各取組に対し、あなたが日頃感じる「現状の満足度」と「今後の重要性」について、それぞれ当てはまる番号に○印を付けてください。なお、設問の取組がわからない時は「よくわからない」欄にチェックし数字に○印を付けないでください。

【記入例】

○ ○○○○○○ (設問のタイトル)									
※市が取り組んでいることを例示しています。									
満足度	満足	5	4	3	2	1	不満	よくわからない	<input type="checkbox"/>
重要度	重要	5	4	3	2	1	重要でない	よくわからない	<input checked="" type="checkbox"/>
満足度…設問について、あなたがどれくらい満足しているか、該当する数字に○印を付けてください。									
重要度…設問について、あなたがどれくらい重要と考えているか、該当する数字に○印を付けてください。									
数字の目安・・・		5	4	3	2	1			
満足度		満足	やや満足	普通	やや不満	不満			
重要度		重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない			

(1) 自然環境の保全

主な取組の例示

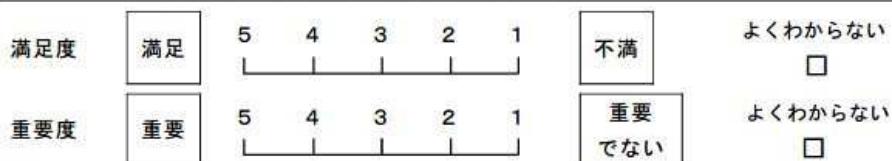
- ・森林保全、河川保全、海洋保全など山・川・海の物質循環保全
- ・市内一斉清掃や自然環境保全の啓発など「環境基本計画」に基づく取組
- ・全市的な花のある地域環境づくりなど日本一花のあるまちづくりの取組

満足度	満足	5	4	3	2	1	不満	よくわからない	<input type="checkbox"/>
重要度	重要	5	4	3	2	1	重要でない	よくわからない	<input type="checkbox"/>

(2) 快適な生活環境の確立

主な取組の例示

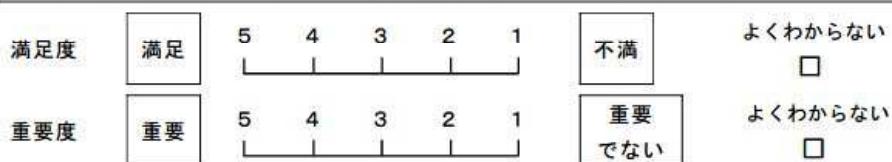
- ・ごみの適正な処理と分別・減量・リサイクルの推進
- ・ごみ処理施設や火葬場施設の長寿命化（老朽化した施設の修繕、改修など）
- ・犬、猫の不妊去勢の助成など犬・猫の適正飼養と飼い主のマナー向上



(3) 住宅環境の整備

主な取組の例示

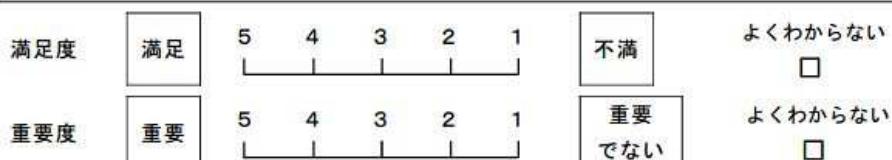
- ・市営住宅の適正な維持管理
- ・住宅の耐震診断・耐震改修の助成など市内の建築物の耐震化促進の取組
- ・老朽化し倒壊するおそれのある住宅の解体に対する助成など良好な住環境の確保の取組



(4) 公園緑地の整備

主な取組の例示

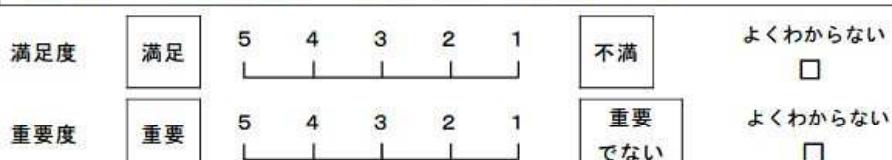
- ・老朽化した遊具や施設の更新など公園施設の長寿命化
- ・緑の基本計画の策定・実施など公園緑地の保全や緑化の推進
- ・登山道の整備や豊かな生態系を守りつつ佐伯城址の保存・活用など城山歴史公園の整備



(5) 景観の形成

主な取組の例示

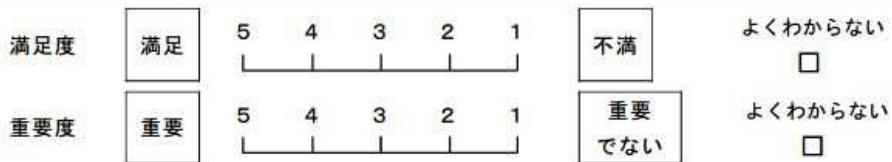
- ・多くの美しい自然景観や安らぐ街並みなど、長い年月により築かれた景観を“守り・育てる”良好な景観形成の促進
- ・景観計画に基づく魅力的な景観づくりなど市民・事業者・行政の協働による推進



(6) 災害に強いまち（人）づくり

主な取組の例示

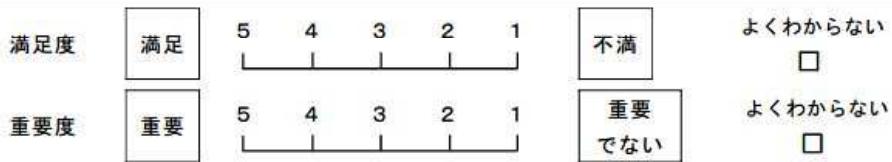
- ・避難地・避難施設等の整備や防災・行政ラジオの配布など防災施設整備、防災情報伝達強化の取組
- ・防災士の養成や地域避難訓練の実施など防災意識醸成の取組
- ・災害に備えた消防庁舎及び通信体制の整備・強化や消防団員の確保・育成



(7) 水道の整備

主な取組の例示

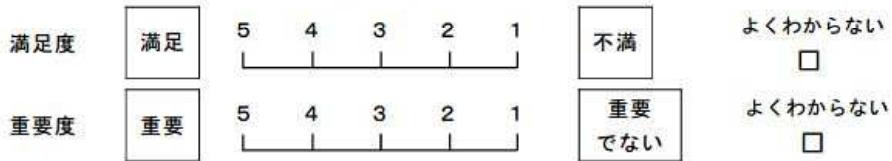
- ・老朽化した送水管や配水管の更新など水道施設の整備による安全・安心な水道水の供給
- ・事業経営の効率化など財政基盤の強化



(8) 下水道の整備

主な取組の例示

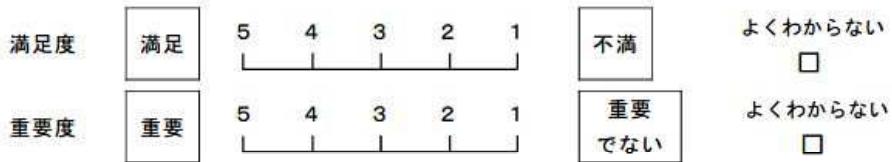
- ・汚水処理施設の最適かつ効率的な整備や老朽化した施設の更新
- ・生活排水に関する普及啓発による下水道への接続、合併処理浄化槽設置など普及率、処理率向上の取組



(9) 道路・情報インフラの整備

主な取組の例示

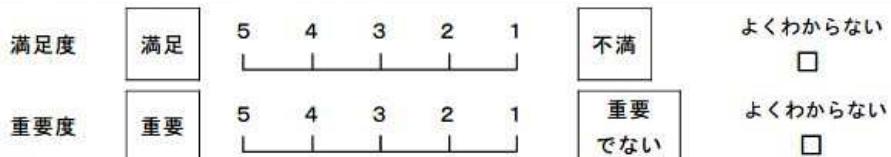
- ・地域の生活環境改善のための道路整備や維持補修など市道の整備
- ・インフラ長寿命化計画に基づく橋りょう、トンネル等の維持補修や耐震化
- ・ケーブルテレビ施設の光ケーブル化によるインターネット環境の改善など利便性の向上



(10) 生活交通体系の構築

主な取組の例示

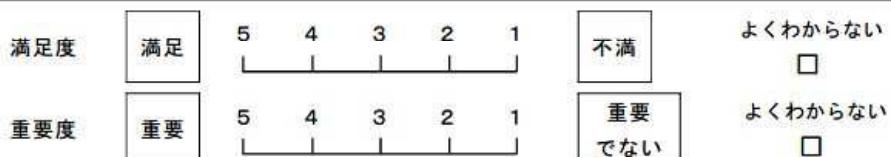
- ・交通事情や地域の特性に応じたコミュニティバスの運行など生活交通手段の確保
- ・JR 佐伯駅のエレベーター及び多目的トイレ設置などバリアフリー化による利便性の向上
- ・離島航路における生活交通路線の確保・維持



(11) 中心市街地の活性化

主な取組の例示

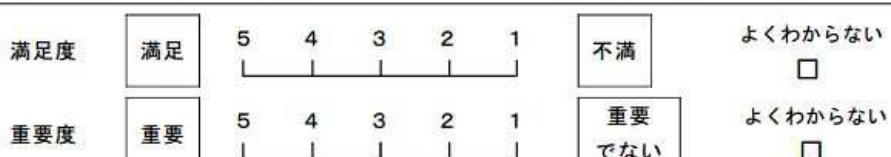
- ・さいき城山桜ホールの整備や人々が集うイベントの実施による賑わいの創出など大手前周辺地域及び駅前・港地域の取組
- ・中長期的な市街地の在り方を具体的に示す「佐伯市市街地グランドデザイン」の策定及び事業の実施



(12) 地域医療と健康増進の充実

主な取組の例示

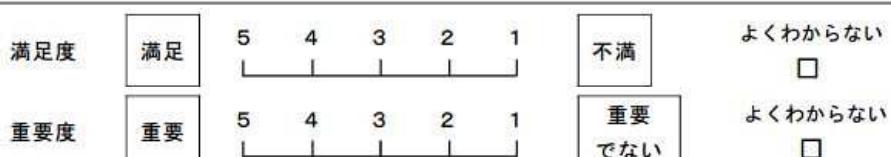
- ・医療従事者の確保・養成など医療需要に対応した地域医療体制の整備
- ・へき地診療機能の維持や医療と介護による市民が安心できる医療体制の整備
- ・健康診査及び各種がん検診の体制整備、生活習慣病予防のための保健指導など健康づくりの推進



(13) 地域で支える福祉活動の推進

主な取組の例示

- ・「我が事」「丸ごと」の地域づくりを育む仕組への転換など地域共生社会の実現
- ・障がいのある人が社会活動に参加し自立した生活ができるまちづくり
- ・住まい、医療、介護、予防及び生活支援の一体的な提供による高齢者の生活を地域社会で切れ目なく支援する地域包括ケアシステムの推進



V 参考資料

(14) 子どもたちが健やかに育つまちづくり

主な取組の例示

- ・待機児童の解消のための保育所の整備及び保育士の確保や放課後児童クラブ、預かり保育の実施など子育て世代の負担軽減の取組
- ・乳幼児健診や家庭訪問の実施など妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援による母子保健事業の充実

満足度	満足	5 4 3 2 1	不満	よくわからない <input type="checkbox"/>
重要度	重要	5 4 3 2 1	重要でない	よくわからない <input type="checkbox"/>

(15) 学校教育の充実

主な取組の例示

- ・児童が主体的に学び、わかる喜びを感じる授業づくりや防災教育の推進
- ・地域の魅力をいかした「ふるさと創生事業」など地域と連携した学校づくり
- ・特別支援教育支援員の配置など障がいのある児童・生徒を支援する取組
- ・教育相談体制の充実やスクールカウンセラーの活用など、いじめ・不登校の早期解決に向けた取組

満足度	満足	5 4 3 2 1	不満	よくわからない <input type="checkbox"/>
重要度	重要	5 4 3 2 1	重要でない	よくわからない <input type="checkbox"/>

(16) 生涯学習の充実

主な取組の例示

- ・生涯学習講座等を通じた市民が自主的・自発的に学ぶサークルの育成や学びの成果を発表する場の提供
- ・老朽化した公民館等の改修など学ぶ意欲を支える施設運営や管理
- ・スポーツ少年団等への活動支援や体育施設の利用促進などスポーツに取り組む環境の整備

満足度	満足	5 4 3 2 1	不満	よくわからない <input type="checkbox"/>
重要度	重要	5 4 3 2 1	重要でない	よくわからない <input type="checkbox"/>

(17) 社会教育の充実

主な取組の例示

- ・家庭教育講座や協育ネットワークの充実など学校・家庭・地域が連携した「地域教育」「地域協働」の推進
- ・生活体験や自然体験、表現教育などの体験活動を通じた豊かな心の育成

満足度	満足	5 4 3 2 1	不満	よくわからない <input type="checkbox"/>
重要度	重要	5 4 3 2 1	重要でない	よくわからない <input type="checkbox"/>

(18) 市民文化の創造と文化財・伝統文化の継承

主な取組の例示

- ・こども・市民ミュージカルなど市民が多彩な文化芸術に触れる機会の拡充や感受性豊かな人間性の育成
- ・さいき城山桜ホールを核とした文化芸術の振興
- ・地域で受け継がれてきた文化財・伝統文化の保存継承の取組

満足度	満足	5	4	3	2	1	不満	よくわからない □
重要度	重要	5	4	3	2	1	重要でない	よくわからない □

(19) 農業の振興

主な取組の例示

- ・集落営農組織の育成や佐伯米消費拡大など水田農業の振興
- ・ファーマーズスクールによる就農支援や有機農業の推進など園芸作物の振興
- ・飼養規模拡大に必要な施設整備、機械導入の支援など畜産の振興
- ・集落や組織が農用地、水路、農道等の維持管理を共同で行う場合の支援など耕作放棄地対策

満足度	満足	5	4	3	2	1	不満	よくわからない □
重要度	重要	5	4	3	2	1	重要でない	よくわからない □

(20) 林業の振興

主な取組の例示

- ・林業従事者の育成・確保に向けた支援など人材育成の取組
- ・稚育生産施設等の整備に対する支援
- ・林道の開設や作業道・作業路の整備に対する支援など林業経営効率化の取組
- ・木材住宅などへの市産材利用促進の取組

満足度	満足	5	4	3	2	1	不満	よくわからない □
重要度	重要	5	4	3	2	1	重要でない	よくわからない □

(21) 水産業の振興

主な取組の例示

- ・養殖経営安定化に向けた施設整備への支援や養殖魚の高付加価値化を図るブランド化など魚類養殖推進の取組
- ・小・中学生を対象とした魚の捌き方教室の開催など魚食普及や漁業後継者育成の取組
- ・外国人技能実習生の受け入れの支援や養殖業者の加工施設整備に対する支援など水産加工業振興の取組

満足度	満足	5	4	3	2	1	不満	よくわからない □
重要度	重要	5	4	3	2	1	重要でない	よくわからない □

V 参考資料

(22) ブランド化・流通の促進

主な取組の例示

- ・都市圏の大規模商談会の参加や県内外のバイヤー等を招聘したマッチングの実施など生産・流通の支援
- ・水産業を中心とした販路拡大や海外輸出への支援
- ・海外・都市圏への流通を目的とし、佐伯産品流通アドバイザーを活用した佐伯産品のマッチングや販路拡大

満足度	満足	5	4	3	2	1	不満	よくわからない
							<input type="checkbox"/>	
重要度	重要	5	4	3	2	1	重要でない	よくわからない
							<input type="checkbox"/>	

(23) 商工業の振興

主な取組の例示

- ・地場産業の活性化や海外取引の促進、企業誘致の取組など工業の振興
- ・創業支援やまちゼミの開催による経営力向上など商業・サービス業の振興
- ・小・中・高校生に地場企業を知ってもらう産業教育や市内就職者への奨学金返済の助成による就業促進など産業人材の育成と確保

満足度	満足	5	4	3	2	1	不満	よくわからない
							<input type="checkbox"/>	
重要度	重要	5	4	3	2	1	重要でない	よくわからない
							<input type="checkbox"/>	

(24) 観光産業の振興

主な取組の例示

- ・「食」をいかした四季を通じた食キャンペーンの充実や観光列車の誘致など観光産業の育成
- ・大入島オルレや藤河内渓谷トレッキングなどエコツーリズムの取組
- ・福岡圏域、宮崎圏域等をターゲットとした国内誘客の推進や台湾等をターゲットとしたインバウンドの推進
- ・インターネットやSNSを中心とした情報発信やWi-Fi環境の整備による誘客の促進

満足度	満足	5	4	3	2	1	不満	よくわからない
							<input type="checkbox"/>	
重要度	重要	5	4	3	2	1	重要でない	よくわからない
							<input type="checkbox"/>	

(25) 人権を尊重するまちづくり

主な取組の例示

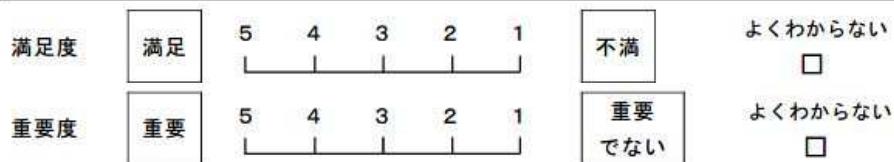
- ・小・中学校における児童生徒の人権に関する知的理性和人権感覚の養成
- ・市報、啓発チラシ等の活用、人権標語の募集、人権の花運動の実施などによる人権啓発活動の推進
- ・人権啓発講座の実施、人権推進員の設置による指導者の養成

満足度	満足	5	4	3	2	1	不満	よくわからない
							<input type="checkbox"/>	
重要度	重要	5	4	3	2	1	重要でない	よくわからない
							<input type="checkbox"/>	

(26) 男女共同参画のまちづくり

主な取組の例示

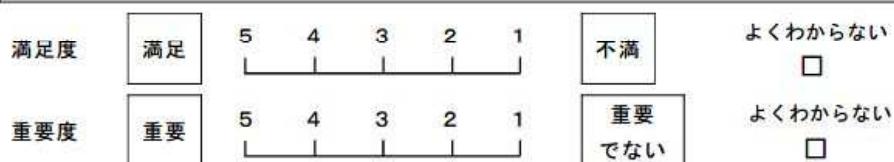
- ・各種会議等での女性委員の積極的な登用についての啓発活動など男女比率均等の取組
- ・あらゆる分野での女性の参画拡大のため企業や学校、地域などと連携した男女共同参画の意識の浸透
- ・仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）や女性活躍の推進



(27) 市民協働のまちづくり

主な取組の例示

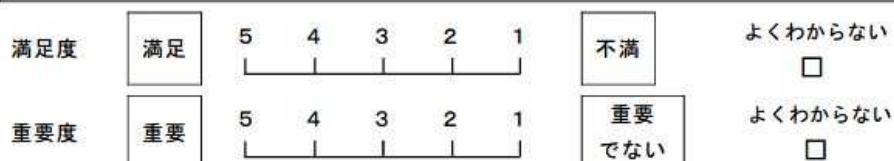
- ・まちづくり交流俱楽部登録団体の交流会、情報交換会の開催
- ・NPO 法人等への相談窓口の開設などまちづくり団体等支援の取組
- ・まちづくり活動や協働に対する市民の意識向上のための啓発活動や人材育成の取組



(28) 「食」のまちづくり

主な取組の例示

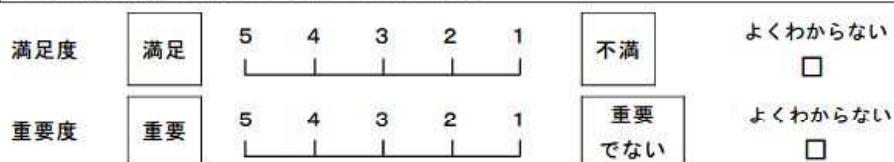
- ・さいきオーガニック憲章に基づく、食育講演会や食育サポーターの養成など食育事業の推進
- ・市民農園での実技講習、オーガニック推進大会、有機農業を実践する、ほ場の見学など有機農業の普及促進
- ・「食」を通じた新たな観光素材づくりや延岡市との連携事業など「食」のまちづくりの推進



(29) 移住定住の促進

主な取組の例示

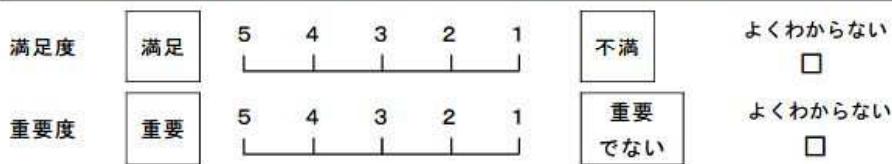
- ・移住相談窓口の設置や東京・大阪・福岡での移住相談会の開催
- ・移住者を対象とした住宅確保に対する支援や交流会、移住体験ツアーの開催
- ・空き家無料相談会の実施など空き家バンク登録の促進



(30) 國際化の推進

主な取組の例示

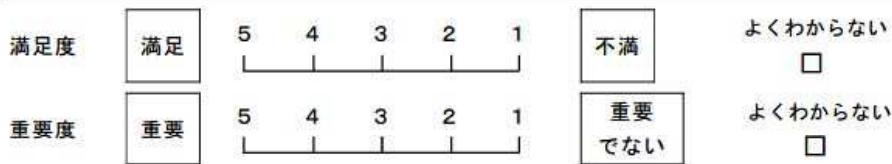
- ・姉妹都市であるグラッドストン（オーストラリア）との相互訪問交流
- ・市内小・中学校における外国語指導助手の配置など外国語教育の充実
- ・産業分野での輸出促進と海外展開及び外国人技能実習生などの受入れの促進
- ・SNS や動画による情報発信や多言語化パンフレットによるインバウンド観光の推進



(31) 市民サービスの充実

主な取組の例示

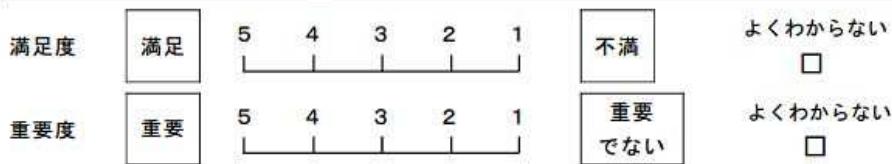
- ・自治活動の支援や地区が管理する防犯灯の設置、維持管理に対する助成など自治・防犯の取組
- ・消費生活相談体制の充実や交通安全運動などの啓発活動
- ・戸籍謄本のコンビニ交付サービスなど利便性向上の取組
- ・ホームページ、ケーブルテレビ、市報等を活用した分かりやすい市政情報発信の推進



(32) 新たな地域コミュニティの構築

主な取組の例示

- ・地域住民と行政との協働による地域づくりの中心となる「新たな地域コミュニティ」組織づくり
- ・新たな地域コミュニティの活動拠点づくりの推進



■ 佐伯市が取り組んでいる施策の総合的な満足度について

問6 佐伯市の取組全体についてどれくらい満足しているか、総合的に考えた場合の満足度について、5段階の中から、あなたのお考えに最も近いものを1つ選んで番号に○印を付けてください。



■ 今後の佐伯市の施策について

問7 佐伯市総合計画（前期基本計画）に掲げている、次の32の施策のうち、今後、あなたが特に力を入れて取り組んでもらいたい施策は何ですか。5つまで選んで番号に○印をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 自然環境の保全 | 2. 快適な生活環境の確立 |
| 3. 住宅環境の整備 | 4. 公園緑地の整備 |
| 5. 景観の形成 | 6. 災害に強いまち（人）づくり |
| 7. 水道の整備 | 8. 下水道の整備 |
| 9. 道路・情報インフラの整備 | 10. 生活交通体系の構築 |
| 11. 中心市街地の活性化 | 12. 地域医療と健康増進の充実 |
| 13. 地域で支える福祉活動の推進 | 14. 子どもたちが健やかに育つまちづくり |
| 15. 学校教育の充実 | 16. 生涯学習の充実 |
| 17. 社会教育の充実 | 18. 市民文化の創造と文化財・伝統文化の継承 |
| 19. 農業の振興 | 20. 林業の振興 |
| 21. 水産業の振興 | 22. ブランド化・流通の促進 |
| 23. 商工業の振興 | 24. 観光産業の振興 |
| 25. 人権を尊重するまちづくり | 26. 男女共同参画のまちづくり |
| 27. 市民協働のまちづくり | 28. 「食」のまちづくり |
| 29. 移住定住の促進 | 30. 国際化の推進 |
| 31. 市民サービスの充実 | 32. 新たな地域コミュニティの構築 |
| 33. その他（具体的に：
_____） | |

■ 佐伯市のまちづくりについて

問8 佐伯市のまちづくりにおいて、あなたがもっとも重要だと思うことは何ですか。
(1つだけ選んでください)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1.若い人が住む、活力のあるまち | 2.交流人口が増え、活気のあるまち |
| 3.生活が楽しく、はりのあるまち | 4.自然をいかした美しいまち |
| 5.生活環境が優れた住みよいまち | 6.人づくりを目指す、教養豊かなまち |
| 7.市民の積極的参加による楽しいまち | |
| 8.その他（_____） | |

V 参考資料

問9 あなたは、今後の佐伯市のまちづくりを「市民」と「行政」が協力して進めるために
は、どのようなことをすべきだと思いますか。(2つまで選んでください)

1. 計画を立てる段階から、協議会などに、より多くの市民参画を図るべきである。
2. 情報公開を進めるなど、市民への情報提供に努めるべきである。
3. 行政活動の透明性を高めることにより、住民と情報の共有を図るべきである。
4. 市民活動・まちづくり団体の育成などに行政支援を行うべきである。
5. まちづくり勉強会などを、行政が主体となって行うべきである。
6. これまで以上に、市民の意見を聞く機会を増やすべきである。
7. NPO 法人の設立など住民が行う公益活動の拡充を支援するべきである。
8. いろいろな団体が協力してまちづくりを進めるべきである。
9. 市民一人ひとりが責任を持ってまちづくりを進めるべきである。
10. 市職員が地域のまちづくりをリードできるよう、資質の向上を図るべきである。
11. まちづくりをリードする市民の人材の育成機会を増やすべきである。
12. その他 ()

問10 あなたが現在、参加している社会活動について、当てはまるものをすべて選んでく
ださい。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 自治会 | 2. PTA、育友会 |
| 3. 消防団 | 4. 青年団(会)、婦人会、老人クラブ |
| 5. 農業関係の団体 | 6. 林業関係の団体 |
| 7. 商工業関連の団体 | 8. ボランティアなどの奉仕活動 |
| 9. スポーツクラブ等の団体 | 10. 市民運動、NPO の団体 |
| 11. 文化・趣味等のクラブ・団体 | 12. 環境美化運動 |
| 13. まちおこし、まちづくり活動 | |
| 14. その他(具体的に:) | |

問 11 あなたが、これから参加したい（これからも続けていきたい）社会活動をすべて選んでください。（○はいくつでも）

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 自治会 | 2. PTA、育友会 |
| 3. 消防団 | 4. 青年団（会）、婦人会、老人クラブ |
| 5. 農業関係の団体 | 6. 林業関係の団体 |
| 7. 商工業関連の団体 | 8. ボランティアなどの奉仕活動 |
| 9. スポーツクラブ等の団体 | 10. 市民運動、NPO の団体 |
| 11. 文化・趣味等のクラブ・団体 | 12. 環境美化運動 |
| 13. まちおこし、まちづくり活動 | |
| 14. その他（具体的に： ） | |

■ 市役所等について

問 12 市役所に対するあなたの意見を聞かせてください。

次の各項目の評価を1つずつ選んで番号に○印をつけてください。

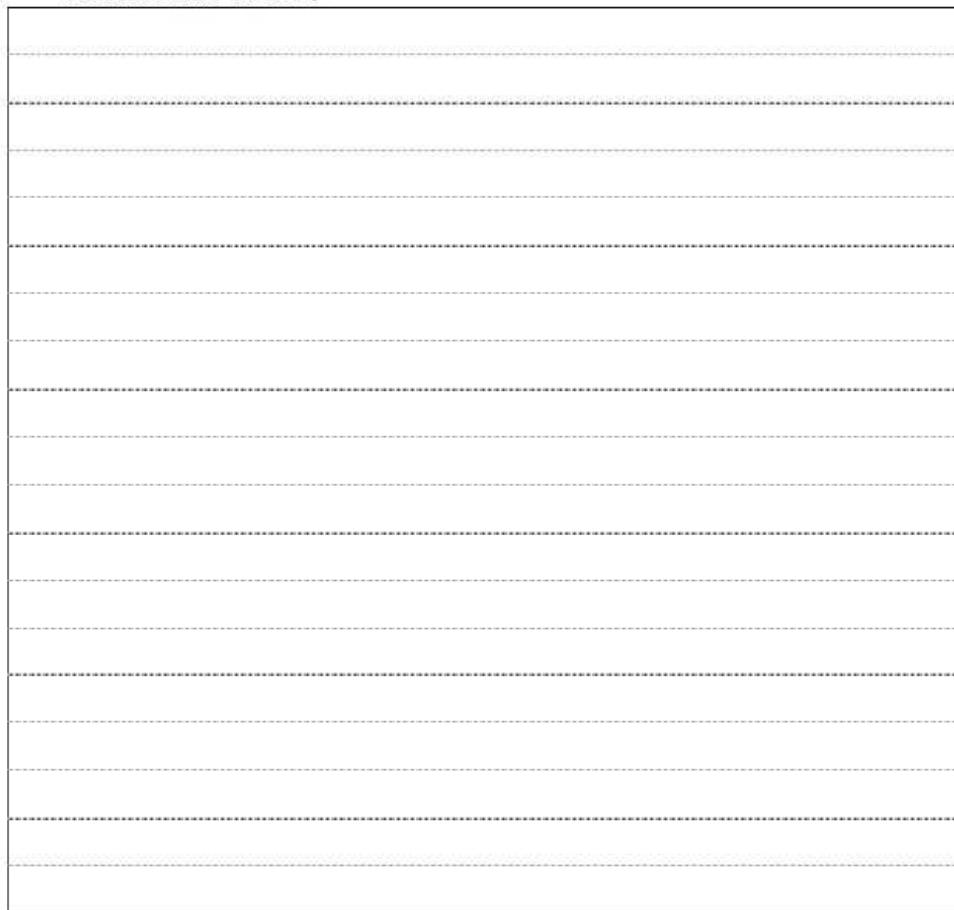
項目	そう思う	やや そう思う	普通	あまり そう思わない	そう 思わない
ア. 気軽に市役所や振興局へ行くことができる	1	2	3	4	5
イ. 窓口・利用したい課・係がわかりやすい	1	2	3	4	5
ウ. 職員の対応が良い	1	2	3	4	5
エ. 広報やホームページ、CATV 等で市政が わかる	1	2	3	4	5
オ. 知りたい情報が気軽に手に入る	1	2	3	4	5
カ. 市民の意見が市政に反映されている	1	2	3	4	5
キ. まちづくりが計画的に行われている	1	2	3	4	5
ク. 市の施設は利用しやすい	1	2	3	4	5
ケ. 待たされることなく、事務処理が早い	1	2	3	4	5

問 13 現在の市役所をもっと利用しやすくするためには、今後、どのようなことを行えばよいとお考えですか。あなたのお考えをご記入ください。

V 参考資料

■ 自由意見

佐伯市のまちづくりに関するご意見・ご提案や、生活していて思うこと、感じたことなど自由にご記入ください。



アンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。

皆様の貴重なご意見を基に、後期基本計画を策定し、今後の市政にいかしてまいります。